（一）　第八千六百八十九號　（月曜日）　THE MANSHU NIPPO　昭和五年七月十四日　（明治四十年八月二十三日第三種郵便物認可）

夕刊　滿洲日報　七月十三日

滿鐵理事の增員 一名は既に確定的
新部長制に伴ひ必要

【東京特電十三日發】滿鐵の理事增員說はほゞ確實なもののやうである、卽ち現在の滿鐵重役の定員は正副總裁の外に六理事（內木村氏內定）であるが同社の定款によれば正副總裁の外に四理事以上となつてをり、最少四理事以上當事者の都合により何人でも增加し得ることになつてをり、その限度についての規定がない、故に今回の職制改革により理事部長制を設け部も十二部に增加したので理事も一二名の增員を考慮されてゐたが一名の增員だけは既に確實となり、その適任者を仙石總裁の手許において物色しつゝある模樣である

昭和製鋼所問題は政府の肚一つぢや
齋藤とはまだ話した事が無い
仙石總裁記者と問答

【東京特電十二日發】昭和製鋼所問題に關する滿鐵重役會議後仙石總裁は滿鐵出入記者と會見左の問答を交はした

問 先刻の會議は十四日の準備をされたのか
答 さうぢや
問 くどいやうだが例の敷地問題はどう決まるか
答 何ぢや、まだそんなことを訊いてゐる、どうも君達は分らんネ…よいか斯うぢや滿洲の仕事を內地同樣に政府が補助獎勵するかせぬかによつて問題は解決する 政府が保護獎勵せぬとなれば實際にこの仕事はやるものではない、だからその政府の肚を十四日に決めてもらふのぢや
問 敷地をどこに決めるかと言ふ點は？
答 そんなことは相談の上のことぢや、やるかやらぬか政府の肚が決まらぬうちは俺にも判らぬ
問 でも總裁の考へは內々決まつてゐる筈だが……
答 いや……さうぢやあない
問 ではお伺ひするがこの事業をこのまゝ着手せず中止すると言ふやうなことがあり得るかどうか
答 それな場合によつてはあり得るかも知れぬ
問 松田拓相は中止せぬと言つてゐたが政府の考へがまだ總裁の考へに一致せぬのぢやないか？
答 そんなことは俺は知らぬ何事もよく相談してみねば判らぬ
問 朝鮮側で馬鹿に騷いでゐるやうだが……？
答 ほんとうのことがよく判らぬからぢやヨ、第一君たちが色々推定を書くからいかん
問 齋藤總督が決定見合せの電報を打つたことについては、どう思はれるか
答 俺は齋藤とこの問題で何も話し合つたことはない、第一敷地の問題はどこに決まるとも判つてゐないぢやないか
問 朝鮮では仙石總裁橫暴などと檄電を飛ばしてゐるが……
答 ハハハ……ア、どう言ふつもりかナ？新聞などで嘘を傳へるから釣られたんぢやろう
問 新聞にどんな嘘が書いてあつたか、又その程度はどうか
答 半分位は嘘があるネ、現に井上の問題でもさうぢや、俺が濱口に井上の惡口を言つたなどと書いてあつたが、アレは間違ひぢや、俺は濱口には何も言はぬその代り直接井上本人に「君は役人で何も判らぬ、名醫を呼んで訊け」と言つたのが事實ぢや
問 藏相はどんな態度をとつたか？
答 成程さうぢやと喜んで忠言をきいとつたよ
問 十河氏の理事が決まつて木村氏も內定したとすると、滿鐵理事の缺員は全部補充出來たわけになるか？
答 缺員と言ふが滿鐵重役は正副總裁とも六人以上と言ふことになつてゐる、六人以下なら缺員ぢやが、それ以上は何人でもいゝ
問 增員說もあるが
答 適任者さへあれば五人でも十人でも百人でも千人でも……
問 社員中に適任はないか？
答 社員理事のことか？、今のところはまだ適任が見つからぬやうぢや

あす最後の協議會
滿鐵側の準備全く整ふ

【東京特電十二日發】昭和製鋼所問題は既報の如く十四日の首相官邸における首相以下關係各閣僚と仙石總裁の會合によつて最後的決定に關する協議會を開くことになつたので

滿鮮關係 各地の運動は今や正に白熱化してゐるが殊に朝鮮側においては仙石總裁の鞍山設置的意向堅固なりとの說に刺戟され凡ゆる方法を講じてこれを阻止し新滿洲建設を實現せんため各地團體の運動員を續々上京せしめるとともに拓務省、滿鐵兩當局を初め各關係者に對し毎日猛烈な電報陳情を試みつゝあり同問題の歸趨は今や各方面の注目を惹くに至つたが、その折柄

仙石總裁 は十二日午前中濱口首相、松田拓相を訪問して種々要談するところあり、更に同日午後二時より滿鐵東京支社において伍堂、神鞭兩理事を招致し關係重役會議を開き約二時間に亘り協議し同問題に關する各種の資料を取揃へ會合當日における關係閣僚の質問に對する準備をとゝのへるところあつた

日曜閑話 蛇を喰つた話

セレベスのミナハサ半島を旅行したときだ、メナドからケマまでドライヴしての歸り、途中の小驛に日本の大工さんが三人ほど居つた。椰子の樹の下で南洋の話をしてゐた。時に岡山縣出身の一人の大工さんが蝙蝠の若竹の筒燒きを御馳走して呉れた。

蝙蝠といつても鳥ほどの大きさだ。眞ツ晝間は眼がよく見えず、茂つた藪の中なぞにブラ下つてゐる。それを長い竿で叩き落すのである。圖體ほどに肉はないが、それでも小雁ぐらゐはあるといふ。

その蝙蝠の肉を太い籔の若竹に詰め、唐辛子などを入れ、それに鹽を少し、砂糖分は若竹から出させる趣向、とにかく相當に調味した若竹を火の中に入れて燒くのである。生の若竹が適當に焦げた頃合が料理の出來る頃合（南洋人はこの若竹に米を詰めたのを行厨にする）南洋のライスカレー（ライスターフル）と同じく辛いことは辛いが、決して不味くはない。バンコツクの鮫の眼瞼の料理、孔雀の舌の料理、鰐魚の鋤燒などの話もあるが、まだ食べたことはない。蝙蝠の蒸燒きを喰つて椰子の實の酒を飲む。まづ南洋氣分といふものの（椰子酒といつてもロシア人なぞの夏の飲料にするパンのくずで造つたクワスぐらゐのものでビールほどのものではないが）

蛇は蝙蝠よりは美味しい。鰒と同じに、蛇を喰ふには時節といふものがあるらしい。早い話が、菜種の花が咲く頃は危險だといふことになつてゐる。

廣東は沙面の對岸、河南に孔江飯といふ名家があつて日本人に蛇の料理を食はすといふ、である。「龍虎相搏」などいふ料理は蛇と猫を甘く調理したものであるが蛇料理といふ本物の毒蛇ではないらしい。だから市中では春夏秋冬「龍虎相搏」を食ふことが出來やうが、本物の「蛇料理」は十二月から一月までぐらゐの短期間に過ぎぬのである。

本物の蛇料理は、廣東では金線蛇などいふ四種類の毒蛇を一組として使ふものだ。

四種類一組の毒蛇を鷄肉のスープで濃いスープにして、それをアルコールランプの上に置き、菊の花などを入れ、蛇酒を飲みぐく舌鼓を打つのである。蛇酒といつてもペパミントと同じやうなもの、尤もペパミントは蛇でないと、あの透き徹つた緑青の色澤は出ぬといふことだ。

廣東の十二月、一月といへば日本の春、それでも山東の牡丹や水仙を飾り、その前で蛇酒を飲みつゝ、菊の花などを入れた蛇のスープを啜るのだ。

尤も毒蛇の料理といつても、スープにした以上、蛇らしい跟跡は全く殘らず、たゞ細い小さい白い肉の間に黒い蛇の皮らしいものがあるだけ、大部分は鷄肉のスープで味を付ける。

その時も日本人が十六人、それに主人側といふので、十人ほどの筵席であつたが、四疋づゝ十一組すなはち四十四疋の毒蛇を調理、鷄は六十羽を使用し、ボーイから數人、朝から蛇の小骨を拔くのに多忙であつたとのこと（一記者）

不景氣打開のため敢て小策はやらぬ
節約豫算は本月中に出來上る
濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉十二日發電通】濱口首相は十二日午後三時半自動車にて夫人令孃同伴鎌倉の別莊に赴き靜養二泊の上十四日歸京の豫定であるが別邸にて左の如く語つた

過日來有力實業家と會見財界問題につき意見を交換してゐるが今後も順次續けるつもりである財界實情については自分の見てゐる處と餘り相違せぬが又違つた意見もあるこれに依つて如何なる

財界對策 を樹つべきかは未だ考へてゐない、大體の方針は十日の與黨閣僚懇談會で自分の述べた通りであつてこの際つまらぬ小策を造らぬ積りである海軍の支拂延期については傳へらるゝ處と內容が違ふ事業と共に支拂ひを延期する事は出來るが事業を遂行してその支拂を延期する事はあり得ない來年度豫算編成は容易な事でないと考へてゐるが編成方針の決定は遲れても各省ともその積りで準備してゐるから大した支障は生じないであらう新規事業は此の際望みはないと思ふ公債政策については今から彼是いへぬが政府は整理緊縮方針は變更せぬ積りである本年度

節約豫算 は本月一杯で出來上るが豫算說明會は開かぬロンドン條約案に對する政府の考へは從來自分の語つた處と變更なく出來る丈け速かに諮詢奏請手續を執る積りでこれが爲めには總ての事情の圓滿解決を望んでゐる然し形勢の變化に依りこれに應ずる方策に出ねばならぬ事になるかも知れぬ、岡田參議官は十四日歸京するので軍部の方の折衝は進むであらうが、これは政府としては何等關係すべき事ではない理論は別として海軍の準備は絕對的必須條件ではないが必要な準備行爲として圓滿解決を望んでゐるものである倉富樞府議長とは諮詢手續を執つた後會見したい

兒玉總監 の辭任は嘗て聞かぬ事である、本日拓相と會つたのもこの事ではない政務總監の更迭が最近に實現するといふやうな豫感も持つてゐない

條約問題は樂觀
反對あらば堂々鬪ふ
幣原外相の車中談

【興津十二日發電通】幣原外相はロンドン條約諮詢につき西園寺公の諒解を求むべく十二日午後三時東京驛發午後七時三十九分興津驛着水口屋に投宿したが車中左の如く語つた

海軍條約について十分老公の諒解を求むる筈である、條約樞府諮詢奏請の時日は未だ決定して居らぬ、外務省の準備は殆んど完了し余としては一日も早く手續を執る事を望んでゐる軍部內のことは余は知らぬが理論上から見て樞府諮詢と參議官會議や元帥會議とは無關係であると思ふ、然し無理をして諮詢を奏請することもないであらうが當てもなく一月も二月も無爲に待つことは困る、余は條約諮詢については樂觀してゐる、若し條約を毀すやうな運動があれば責任上堂々と鬪ふ許りでアメリカ上院も批准につき八釜しい樣だが來週中には無事に終りイギリスも日本より一足先に批准を終ると思ふ、日本の批准には英米とも樂觀してゐる

尙同車には井上藏相が御殿場まで水野前文相が大磯まで同車した

兒玉政務總監辭意を表明
後任には後藤文夫氏

【東京十三日發電】兒玉朝鮮政務總監は齋藤總督まで辭意を表明したので總督上京後正式發令さるべく後任は後藤文夫氏と見られてゐる（寫眞は兒玉氏）

兒玉總監否認

【東京十三日發電通】辭職說を傳へられた兒玉朝鮮政務總監は當地昵近者に向け右は全く事實無根なる旨の電報を寄せた

籠城半歲の『諸城』高桂滋軍

寫眞（上）城兵は城壁の下に穴居してゐる、向つて左、城將高桂滋氏が護衞兵一人を從へて從容、閑日月を示してゐる、この穴は卽ち旅長室右は參謀長室「以黨治軍」の標語も面白く參謀長が書類を閲してゐる、この穴は飛行機の爆彈除を兼ねてゐる（下）城兵、城壁の上で包圍軍を睨合つてゐる光景

税金の納附延期と各種料金の引下
無產黨全國的に運動

【東京十三日發電通】社民黨は現下の不況に鑑み、以前の通貨膨脹時代に不自然に重課された儘である租稅、地代、金利、家賃、電燈等の過重負擔から脫却して民衆の生活を防衞すべく十二日午後中央執行委員會を開いた結果租稅公課の納稅延期請願運動を中心に非常特別富豪稅設定要求地代家賃運賃の値下げ電燈料瓦斯料金値下げ等具體的方針を決定民衆生活費輕減鬪爭を全國的に起す事に決定し近く他の無產黨と共に共同して大運動を展開する事となつた

金の流入が三百萬圓に上る
七月に入つてから

【東京十三日發電通】金解禁後の滔々たる金の流出は先月を以つて停止し本月に入つては全く流出しない許りか却つて日々二十萬圓乃至五十萬圓の少額ながら金の流入を見、七月に入つての流入高は既に三百萬圓前後に達せる模樣である、この流入經過は殆ど全部支那內地より北支那滿洲或は朝鮮を經て輸入されるもので最近輸入は多く支那人より我國在住の支那人へ向け送られて居り國民政府の金輸出禁止令の發布後より始まつたものであるといふ、その性質は未だ判明しないが對支貿易の決濟が主たるもので一、二には銀塊相場の關係より我國において金を保有する方が有利である事も一因であるらしい、上半期中の金の流入二百餘萬元は全部この支那からの輸入でその中には銀行の取寄せたものも含まれてゐるが最近は金輸出禁止のため全部個人的の輸入に限られてゐると

米國務次官條約辯護

【シカゴ十一日發電通】ロンドン會議中特に大使として日本に派遣されてゐた國務次官キャッスル氏は本日當地ユニオンリーグ、クラブで演說し極力條約を辯護し、日本が米國に對し比較的大きな比率を要求した事は決して日本の不信ではない日本のフイリッピン占領說は一笑にも値せぬとて幣原外相の言「戰爭は結局日本を破綻せしむ」を引例し條約が三國に最も公平な取決めをしたとの確信を述べた

擴大會議は下旬
朱鶴翔氏記者に言明

【北平特電十二日發】北方政府問題につき本日、記者は外交署に朱鶴翔氏を訪ひ左の如き明言を得た

政府は臨時的のものでなく正式の政府を樹立すべく、先づ各派の擴大會議を開くことに決定した、なほ新政府の外交方針は日本との親善を中心とし內政は國民の生活を主眼とする、なほ擴大會議は本月下旬開くことに決定

ヅ勞農總領事轉任說否認

【奉天特電十三日發】勞農奉天總領事ヅナメンスキー氏の歸國及び轉任說が傳へられてゐるが同總領事館ではこれを打消しヅナメンスキー氏が去る七日出發滿洲里に赴いたのは家族出迎への爲めであつて十五日晚には省政府主席臧式毅氏以下省政府委員全部及び瀋陽市長等多數を招待して居りそれまでには歸奉する豫定であると稱してゐる

韓軍陣地の一部奪回

【濟南十二日發電通】韓復榘は臨淄で督戰の結果山西軍陣地の一部を奪回し山西軍の負傷兵二百餘名は濟南に送られて來た

瀋法間支線敷設
問題の奉天榊原農場
支那側が買收交渉

【奉天特電十三日發】滿鐵の事業吸收策として支那側當局は各地に鐵道敷設の計畫を進めてゐるが今回東北交通委員會では瀋法支線百六十支里の鐵道を敷設すべく躍起となつて計畫してゐる卽ち該線の經費は現大洋の三百萬元で官商合辦となしその中百萬元は遼寧省庫に、二百萬元は東北省各鐵路局に負擔せしめ奉天、法庫門間に敷設せんとするものである聞く處によれば目下未解決のまゝとなつてゐる榊原農場橫斷問題は支那側が買收に奔走中であるといふがその價格問題で容易に決定を見ず支那側當局は同地をさけ迂廻してまでも敷設せんとする意嚮であると

櫻內理事長等けさ歸連

十三日午前八時半入港の濟通丸で天津、北平視察中の五品理事長櫻內辰郎代議士、貴族院議員高橋隆一氏、齋藤喜八郎代議士は打連れて元氣よく歸連したが、櫻內氏は左の如く語る

たゞ遊びに行つただけです、別に面白いお土產話しはありません十一日に天津領事のインビテーションに行きましたがその時の話によれば最近の時局も新聞に傳へられてゐる通りで目新らしいニュースも耳にしませんでした十五日に關東長官を三人で訪問し十六日から奧地に行き高橋、齋藤兩君は陸路歸京し私はこちらへ引き返す豫定です

學士院會員補缺

【東京十三日發電通】十二日帝國學士院定例總會にて會員補缺選擧の結果第二部に京都帝大經濟學部教授神戸正雄氏が會員として當選した

人事

▲櫻內辰郎氏（五品理事長）十三日入港の濟通丸にて天津より歸連
▲高橋隆一氏（貴族院議員）同上
▲佐藤喜八郎氏（代議士）同上

天氣豫報

十四日（南西の風）晴れ一時曇り

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二八・六	二九・八
旅順	二七・四	三一・〇
營口	二八・五	三〇・六
奉天	二九・〇	二九・二
長春	二六・六	三〇・七

滿潮（午前零時五分 午後零時卅分）
干潮（午前五時四十五分 午後七時十分）

艶色生膽秘譚（171）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

哀　別（七）

薩摩屋敷に糾合された浪士の群は、誰も彼も異常に緊張してゐた。相樂總三を中心として益滿休之助、伊牟田尚平の三士、この總指揮に當つてゐたが、曉白む頃驅け込んで來た亮之助、相樂の名をよんで昏倒したに驚を發し、血卍組の破綻が屋敷內に傳はつたからである。

「今夜の大事を何んとしやう」

相樂は元氣恢復した亮之助對手に、奥の書院で秘策を講ずるのであつた。

「宮川左近に限つてぬかりはありますまい、必ずかの三藏めをひきつれ富屋敷へ驅つけてまいるに違ひございませぬ」

亮之助は確信ありげにかう云ひ放つと肩をそびやかした。

「さうか――」

相樂もそんな氣がされたからである。

と、かれこれ午剋を過ぎやうとする頃、近侍の者が慌たゞしくも書院へ走つて來た。

「宮川左近殿、一名臨伴參邸されました」

「おお――」

相樂はホッとしたらしく笑つた

「亮之助殿、逢つて下されい、彼れても居らう」

「はッ！」

控への間へくると左近は手を伸ばした。

「や、無事で何より」

「お互にな、併し怪我をしたな」

「おゝ、それがしは脚部に、三藏めは火傷ぢや」

「痛むか？」

「なに大したことはない……して今夜の手筈は？」

「相樂先生に伺ふがよい、三藏いまの間に少し休息するがよいぞ」

「へい！」

三藏を殘して左近亮之助の兩名奥の書院へ戻る。

終日の評議のうちに陽は傾きかけた。日足短く暮れやすい候。

水戸に育つた亮之助は水練の達人、今宵は先鋒の役目、陸の忍術水の潜術、その潜術の奥儀をもつて内濠越へ、かねての企てを成就せしめんと云ふ手順、最初は鐵打駕籠で天璋院の使ひと僞る筈だつたが、手ぬるしと見てかこの直接行動、相樂が口を極めて左近を止めたが肯きいれなかつた。

「脚が痛みはせぬか」

「大丈夫でございます。殊にそれがし强ても參加を乞ひまする。ほかの三藏が兩親並びに妻女と固く契つてまいりましたれば萬難を排して彼奴を無事に歸さねばなりませぬ、身を以て彼を擁護いたす所存」

かう云はれては相樂も强つて退けるわけにはゆかない。

そこで宮川、水原の兩士、加ふるに三藏つまりは些々たる衆團的存在ではあつたが血卍組一黨が一切を委任された形。

これをきかされると三藏、充分眠つたあとの快さから場處柄もわきまへず手を拍つて喜んだ。

「しめたッ、これで昨夜の腹いせが出來るてえもんだ」

「これ、靜かにせぬか」

「ホイ、鐵誠庵ぢやアなかつたつけ。どうも屋敷なんてこれだから窮屈でやりきれねえ」

「あ、これ！」

亮之助はハラ／＼した。

廊下を通りすぎる浪士の群は亮之助や左近と挨拶し乍ら、三藏と猿とをこも／＼不審相に眺めて、ニヤ／＼してゐる。

いよ／＼夜の幕はおりた。

充分な腹拵へ、身拵へ、すまして立上つた三人。

この時相樂總三、心持蒼ざめた顏して急ぎあしに入つて來た。

「宮川、水原御兩所、大事決行の上は寸時も速かに歸邸願ひたい」

「は、」

「酒井左衛門尉が市中所砲擊沙汰よりして事態いよ／＼惡化、今宵にもかの庄内松山の藩兵等當屋敷へ押よせんも計られぬ形勢にある」

左近の眉はピリリとふるえた。

「ほう、願つてもない、よき死場所が得られまするな」

河部五郎の初日狂言替る
『妙法院勘八』と『國定忠次』に本紙の艶色生膽秘譚

溢るゝ熱と意氣を持つた映畫界の人氣者、時代劇に劍戟に侠客劇に往くところ可ならざるは無く大日活京都撮影所の人氣を背負つて立ち久しく光彩を放つてゐた河部五郎が突如！眞に突如疾風迅雷的行動によつて日活脱退を闡明し實行したのは昨年秋暮の頃であつた天下のファンは一齊に驚いて其後の成行に多大の注意と期待を拂つたが獨立した彼は其旗揚擧行を東京公園劇場に開演し果然頂天に達する其人氣に益々彼の面目躍如たるものがあつたが引續き其旺なる熱と力とを漲らせて目ざましき奮闘振りもて六大都市はじめ内地各地に大好評を博してゐた彼が近く再びスタジオに返り咲く噂ある矢先既報の如く其の一黨を率ゐて渡滿することは蓋し猛夏の大連劇界に投げる一大清涼劑としてファンの渇仰措く能はざる所であらう、一座は既報の如く來る十八日入港はるびん丸にて來連、即日初日開演の筈なるがスクリーンを通じてのみ見られてゐた彼獨自の大猛闘！飛鳥の早業その快劍縱横振りは今や目睫の間に迫つてゐる、初見參の彼が觀客の期待に背かざらん事を期して選拔し上演せんとする定評ある殺陣をとり入れた極め付の名狂言は御目見得狂言として第一村上浪六氏作の映畫で知られた「妙法院勘八」九場と第二行友李風氏作の極め付「國定忠次」四場であるが此外に目下本紙に連載中の伊藤松雄氏原作の「艶色生膽秘譚」を特に本社觀劇會のため葉村俊二氏によりて全五場に面白く脚色して上場することに決したことは彼の第一回滿洲開演地たる大連興行をして一層意義あらしめることであらう

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都筑米子女史
五子　鳴尾直人氏

――【7】――

帝キネは寶館上映
近く經過發表

帝キネ問題は昨報の如く愈々大詰となり帝キネ映畫が寶館に上映されることに確定したものゝ如く演藝館にては帝キネ解約に對する準備一切を整へた模樣で今明日中にその經過顛末を發表すべく、一方寶館にても新館主吉田氏より帝キネ契約の闡明書を近く發表する筈である、尚木村帝キネ事務員は再び上阪し帝キネ本社と打合せするものと觀られてゐる

帝キネのいさこさで演藝館の木村事務員と井上技師は完全に吉田派と小田派に分れて睨み合ふ▲そこへ軍師小笠原ライオンが歸つて來て昨夜から活躍を開始▲一方寶館の從業員は結束して新經營者側に要求を提出したが、暴風雨警報とも傳へられてゐる▲大日活の「唐人お吉」のプリントは内務省の檢閲通りとかで僅か一場面のカットですみ▲殊に四卷目の如きはノーカットでこの暑いのに飛んだエロ映畫がお客を喜ばせてゐる▲各館の解說者晝間勵行はトリをとるよりも野球の方が大事で▲館主と同樣矢張りこれも惱ましきものは野球らしい

大連　JQAK

七月十四日午後七時卅分

▲ラヂオ體操
▲露語講座（第四十二課）大連語學校グローマン
▲講話（盂蘭盆（盆踊））大連彌生高等女學校南部先生
▲レコード一、五つの交響的斷章マリピエロ編曲二、歌劇ミニヨン序樂トーマ作三、パッサカリアヘンデル作
▲義太夫（太功記十段目尼ケ崎の段）太夫鄉地、三味線鶴澤叶治郎
▲支那唱（王二姐思夫）唱郭巧仙、飾付楊樹亭
▲料理獻立
▲天氣豫報

實演される『艶色生膽秘譚』

大衆味と新演出の舞臺

永賀見太郎

河部五郎の實演團が來演する。演物は「修羅王」や「妙法院勘八」や「修羅八荒」の如きスクリーンに描かれた姿の舞臺再生、そこには當然大向ふの喝采が約束されてゐる。然しいづれも大連にて上映され映畫ファンを熱狂せしめた喝采の殘滓でもあるので私は初めて舞臺に見る興味を河部五郎の一座に持ちたかつた。そこで——

本紙にシナリオ・ライターとしても知られてゐる伊藤松雄氏の新講談「艶色生膽秘譚」が連載された當初から映畫らしいテンポを以て轉換してゆくサスペンスに富む場面の變化を見てこれをクランクしたならば嘗に本紙に連載されたた「金剛呪門」の映畫化よりも更に一層大衆的興味があらうと期待してゐた、現在尚私はこの希望を捨ずにゐるが——大連のスクリーンに映出される日があるかも知れない。

ところへ恰も河部五郎の來演が決定し東京から飯田支配人が來連された、私は未知の河部五郎の所謂實演なるものに對して飯田支配人の話から映畫式演出によつて場面轉換に快いスピードを感じたしまた滿山滿一黨の「丹下左膳」の舞臺を見て、その演出せんと意圖するところのテンポを充分に窺ひ知つたのでシナリオとして興味を感じた「艶色生膽秘譚」を舞臺のテンポを演出の生命とし、また主眼とするキネマ俳優の實演によつて上演すれば必ず大衆的興味を盛り得ると信じた

こんな氣持で私は「艶色生膽秘譚」の上演を飯田支配人に謀つたところ快諾を得たので直ちに準備に着手したのであつた「艶色生膽秘譚」は當時約百四十回ほど連載されてゐたので、これが本紙切拔きを飯田支配人に托すると共に、その後の梗概及び原作者との交渉は東京支社を通じて圓滿に運び、一座の演物「旅人權三」の原作者であり、多分座附作者であらうと想像される葉村俊二氏の手によつて脚色され全五場の狂言となつて戯化され、既に內地にて試演し成功したとの報告に接してゐる。

果してどんなものが出來上つたかは上演の日が待望されるが期待するところは大衆讀み物としての興味を繋ぐ物語の面白味と共に全五場に盛られた所謂實演なるものゝ獨自な新演出による快いテンポが生み出す爽快味であらう。

蒼白きイデオロ

芦田敏

滿洲に於ける文藝運動に於いて結城準一郎氏の說と大內隆雄氏の說が、妙に僕の心を引いた。結城氏が本紙に發表した。滿洲と文藝運動の中に述べてゐる如く、明日への文藝運動は悲觀すべきものでない。

植民地のインテリ達に就いては大內氏と同樣な觀察を僕もくだしてゐるし、先づ無緣の衆として期待は持てない。然し植民地のインテリや勞働貴族（そんな氣のきいた者も居ない樣だが）達の一つグループを相手とし目標として、結論に急なるは再考の餘地があり得ると思ふ。

インテリは、いつまでも蒼白き、インテリで終るであらう事も、彼等を分析して見る時にはうなづける。何にが彼等をそうさせるか？を考察する時に於て、此のインテリばかりではなく、無產階級までも、インテリと同じ結果を來してゐることが發見される。

だから、インテリや勞働貴族達ではなしに、此の植民地の人達が如何なる意識を持つておるかを分析して見たまへ——とも云へる。斯かる植民地に於て全く悲觀すべきであらうか！

明日の文藝運動である限り、大衆に呼びかけるところの文藝運動である限り、悲觀すべきものでない。

明日の文藝運動であり、大衆に呼びかけるところの運動であるに於ては、鬱蒼の土地に種を蒔き肥料を施して効果を見るが如き考察は誤りである。悲しむべき荒地にそれ相當な手當と肥料を施し、忍苦の努力を拂ひ、培ひつゝながら明日と云ふ辛抱さの態度であらねばならぬであらう。

滿洲と云ふ植民地。此の荒地があらゆる科學的方法を以つてしても、その成果を得る望みがないとしても、これを拋棄してよいものであらうか。荒地に住しても食物が必要であれば、いかなる草木をも育て食料とするであらうように此の荒地に等しい植民地もそれと同一であつて、明日に生くる爲めには、此れを拋棄することは出來ないはずである。彼かる態度に於て、明日の文藝運動を行ふ可きであつて、失望と苦難の前に旗を伏すは、それは蒼白きインテリである。

悲觀的な大內氏と反對に、結城氏は樂觀的である。然もそれは餘りに公式的であり、朗か過ぎ、カフェーでマルクスボーイ達の會話の樣でもある。

氏は云ふ——集中主義的傾向を取りつゝある各重要會社の政策、それによつた過剩人員の整理、[illegible]同胞の叫び此れらの事項に反して邦人の人口密度は刻々として增加して行くではないか——と勿論である。であるが故に氏は——悲觀どころか、最も大きな幸福のためにかがやかしい役割を背負つた文藝的方面に於ける、オルガナイザーとしての自分を見る事が出來るだらう——と最も大きな幸福のためにかがやかしく、然もオルガナイザーとなるべき結城氏は、亦何んと幸福であらうことか。

結城氏は恰度大正八、九年頃社會運動の盛んな當時の連中と同樣な態度を昭和五年に見せてくれる勇氣に感服する他はない。恰度あの頃僕はそうした餘りに公式的なそして認識不足な運動にあきたらず、もつと現實に眼を開けと警告したが遂に容れられなかつたが、大正十二年のあの震災で始めて目が覺めたのであつた。

結城氏がオルガナイザーを自任なさるも、それは自由であるが、それは蒼白きインテリであることを發表することである、明日の社會をめがける者には、持つてゐないところの、プチブル、イデオロである。

氏が——根本的な此の三つの課題をしつかり認識して——と云はれたる、その三つの課題なるものからは、氏の云ふ最も大きな幸福もオルガナイザーも持ち來たらさないであらう。滿洲はそうして課題でなしに、もつとく大きな重大問題がある。氏はそれを見逃してをられることこそ、もつと滿洲を確かり認識して欲しい。

氏はアメリカ文學を引いて、大內氏に當つてゐるが、そこにも氏の認識不足さがうかゞはれてゐる認識不足は大內氏から返上して然るべき程である。大內氏が悲觀的言辭を述べられたとて、現實には結城氏より確實性が多い樣に見受けられる。

植民地の滿洲、悲觀であるとか樂觀すべきだと云ふ事は、蒼白きイデオロの所有者のみが云ふことである。悲觀の材料ばかりが集積もされてゐるが、明日の希望もそれだけ多く持たせられる。悲觀とか樂觀ではなしに、必然の歷史的使命を使命として、あくまで躍進するのみであつて、何處に於ても旗を伏せもしなければ、亦封建時代の遺物であるところの英雄主義やオルガナイザーも望みないであらう。

見た顏『唐人お吉』

——十一谷義三郎のこと——

伊藤船夫

「唐人お吉」を書いた十一谷義三郎——僕の記憶に若し誤りがなかつたなら、例の「文藝春秋」の旗下にあつた橫光、片岡、中河、等々といつた連中が分裂して「文學時代」（？）といふ別な城を築いた事があつた。

當時、多分其の雜誌にだつたらうと記憶するのだが、十一谷義三郎が「青草」とか何んとかいふ短篇を發表した事があつた。

——驢馬崇青草あるに泣かんや……そんな聖書が何んかの文句を附して、何んでも兄弟物であつたように思ふ。

實に感心したものである。

その時分から僕は此の人が好きであつた。

書く物が總て正面を切つて、ひた向きな氣持が鋭い程感じられる——そんな筆の跡がある。

——「唐人お吉」を書くべく調べにかゝつたのは昭和三年の一月であつたと十一谷氏が告白する所によると作とした物を發表した最初のものは同年の十一月と十二月の中央公論であつた相である。

次ぎは翌四年の六月初めから十月初めにかけて東京朝日新聞の夕刊に「時の敗者」として連載したが——最後に今年の正月から、つい此の間まで書いてゐた。

その意圖は——彼女の一生を裏づける時代の動き——時代の呼吸——個人と社會の問題——個人と時代との交渉——そこを摑んで、嘉永安政から明治中葉にわたる彼女の一生を展開する……といふのであつた相である。

斯う言はれて見ると、僕は確か中央公論に發表された第一回めの唐人お吉を讀んで、第二回めは讀まなかつた樣な氣がする。

東朝に連載されたのも今年の一月から其の前の分は讀んでゐない割合に此の人のものは落さず讀んでゐたのであるが、斯う三年越しも轉々されると些か困る。

だから先日大日活で梅村蓉子、山本嘉一により溝口健二が物した處の「唐人お吉」を見せて貰つた時は——見た事のあるような顏でゐながら思ひ出せない顏を見てゐる——そんな氣持がした。

お吉……といふもの、存在と當時の時代的動き、その二つが小突き合ふ處に、どうにもならない宿命的な影——それは非道く寂しいものだ……或は、そんな顏は見た事がなくても、見た事のあるように想へる顏かも知れないが……。

夏を描く

清風館のこと

橫澤宏

老虎灘の牛島の鼻先きに「清風館」といふ小料理屋がある。

去年の夏、或る人に連れられて二、三度此の家に行つた事があつた。

本當の小料理屋で、緣先きに物音がするから振返つて見ると、鱸がキョトンとした顏をして突つ立つてゐるといつた具合に——小さな料理屋である。

たゞ、一番牛島の鼻先きに突出てゐるので部屋いつぱいに涼風が吹込み、展望がきくといふのが取柄である。

此所で食べさして貰つた魚の鋤燒は推賞する程の物ではなかつたが、鍋だけは、ちよいといゝと思つた。

ツボ燒もよろしい。

食物のよし惡しを言ふ程、實は道樂ではないのだが正直な話、甘味いと思つた。

ともかく——海に行つて、いきなり着物を脫ぎ捨て水のなかへ入る——それよりは、こんな家で新鮮な食物を喰ふ方が寧ろ涼趣があつていゝ。

この清風館に、去年はお花さんといふ女が居つた。

僕をまで「旦はん」と呼ぶ、てれた次第だ。

一度こんな事があつた。此の家に僕を連れて行つて吳れた人が——尾籠な話であるが……「おなら」をした。

お花さんは恰度鋤燒の鍋を突ついてゐたが「おなら」の音を聽くと、ふい……と後ろを振返つて

「おいでやす」

ぽつゝり——眞面目な顏で、そう言つたきり笑はうともせぬ。

それが亦實に自然だ。

僕は開け放たれた緣先きから渺茫とした海を見返つて失笑した。

海には——落陽を背負つた漁船が靜かに歸つて來る所だつた。

夏になると想ひ出せる——家と人とである。

滿洲藝術家聯盟

在滿藝術團體の協議體たる聯盟は去る十一日、七月の例會を開いた出席者十六名、今後の共同事業に就いて協議した、目下の加盟團體は「燕人街」「戎克」「滿洲新劇場」「連潮社」「曙人」「郷土藝術家聯盟」「大陸文學」「塞外詩社」の八であるが、次回は滿洲ジャーナリズム批判會を催すと

ラヂオ露語講座

大連放送局七月十四日午後七時

講師大連語學校グロースマン

СОРОК ВТОРОЙ УРОК.

Б.—Весна уже в полном разгаре. Смотрите, какя масса цветов.

Какая хоршая зелень на полях.

А.—А как красиво извивается эта маленькая речка.

Смотрите, вон там купаются и играют ребятишки. (Ребята).

Б.—Да, г. споди, это очень интересно и красиво-и река, и поля, и цветы, и безоблачное голубое небо, яркое солнце, но……там дальше вы будут еще восхитительнее.

Вы придете прямо-таки в восторг, когда будете проезжать через Хинган.

Там высокие горы, дремучие леса и так-же много цветов.

Но самое интересное так-это, так называемая Хинганская петля и Хинганский тоннел.

第四十二課

Б.—もう春の眞盛りです。なんと花の群御覽なさい。なんといゝ勢力が野にあることでしよう。

А.—まあ—なんと奇麗に此の小さい川がうねつてゐることよ御覽なさい、ずつと向ふに小供等が浴びて遊んでゐます。

Б.—皆さん川や野や花や晴朗な薄青い空や、明るい大陽は誠に面白く奇麗です、然し向ふの遠くの景色はもつともつと面白く恍惚とせしめる。

貴方はヒンガン（山の名稱）通る時は本當に悟ぶでしよう、あそこには高い山蜜林そうして又澤山花が有りますだがそこで一番面白いのはヒンガントンネルとヒンガンの紐穴です。

滿洲日報

社說
見本市の成果を收めよ

先般、大連に開かれた第一回の滿洲見本市、まづ成功裡に閉市したといつてよからう。慾を申せば際限ないが、とにかく日本內地の生産工業が如何樣の狀況にあるかその日本の工業を以て、この滿洲に對して如何の程度まで販路を擴張し得るやといふやうなことも大體は見當がついたことと思ふ。

◇

日本內地の生産工業が、如何に長足の進歩をなしつゝあるかは、今さら申すまでもないことであらう。ある點においては、ドイツの商品やイギリスの製品などの特徴を採り、世界の如何なる地方においても競爭するも、決してヒケをとらぬものがドシ〳〵と生産されるのである。精巧の點において、また格安の點において、すこぶる優秀なる成績を示しつゝある。一時支那の手工業、または小工業が勃興し、わが商品の前途に一大脅威たるべしと做す向もあつたが、わが殷々乎として停止することを知らぬ工業界の進歩を以てすれば、すでに支那の工業に對し、相當のハンデキヤツプのついてゐることを承知して然るべしと思ふ。勿論かくいへばとて、吾人は決して慢心したり油斷してはならぬ、が併し、生産技術や製造組織において今日の如くハンデキヤツプのついてゐる以上、われ〳〵はただ支那側に對し、格安にして上等の商品を提供するといふ親切心をさへ發揮せば足るのである。必ずしも粗製濫造といふのではない。今日は値段に比較して、常に相當の商品を供給し得る準備が、わが日本內地の工業界に出來てゐるのであるから、われ〳〵は格安の上等品を支那側に提供すべきである。

◇

見本市においての取引値段と一般の小賣値段との間には、また相當の開きがあるやうである。われわれ今日の消費經濟組織を構成してゐる以上、生産者から消費者への道程を、成るべく簡易近接せしめることを念とせねばならぬ。そこに商業者の進むべき道が存するのではあるまいか。勿論、資金の運用、その他において、また大連その他の滿洲都市の如きにありては、銀資金を如何に運用するか等によつて、最新の消費經濟に適合する方途を發見すること、決して不可能ではないのである。然るに依然として舊態を脱し得ぬものがあるが如きは、そこに世界的の一般不景氣、または銀安の打擊等ありとしても、商業者の積極的の活動力の不足を示すものといはねばならぬ。年々歳々消費經濟の機構は、非常なる進歩を示しつゝあるには相違ないが、先般の見本市の實況等より考察せば、なほ一段の勉強があつて然るべしと思はるゝ節がある。

◇

第一回の滿洲見本市そのものに對し、われ〳〵は色々の希望なり注文なりがないではない。併しながら、それと同時に吾人は、この輸入組合の主催したる見本市において、すくなくも輸入組合員が取つて以つて手本とすべき、參考とすべき多くのものゝ存在したことを見のがしてはならぬと思ふ。その成功した見本市より獲得したるところの材料を以て、來る商戰に向はんか、その勉強如何によつては日本人間に新活動場裡を開拓し得ると共に、支那人方面に向つても相當販路を擴大し得ることは、日本內地の最も進歩したる工業のバツクを以てして、決して不可能事ではあるまいと思ふ。吾人は、かくの如くに觀察し、過般の滿洲第一回の見本市を、最も有意義にこれが收穫を收納することに努力し、以て現下の不景氣、銀安に對する不況時代を打開せんことを要望するものである。

昭和製鋼所の位置問題 愈よけふ最後的決定
傳へられる三當局三樣の意見
歸趨は豫測を許さず

【東京特電十三日發】昭和製鋼所問題の運命を決すべき巨頭會議は既報の如くいよ〳〵十四日午後三時から首相官邸に開かれるが問題解決の鍵となるべき

一、政府の保護奬勵方法即ち關稅並びに奬勵金の給與如何
一、敷地の決定即ち鞍山か新義州か(それとも關東州か)

等の問題が果して如何なる歸着を示すべきか頗る注目されて居る、今試みに本問題の歸趨について關係三當局者の暗示的談片を並べて見るに先づ

松田拓相は 山本前總裁の新義州設置計畫は杜撰であるから更に精査したのである、敷地については未定であるが事業は今更中止することはない

と言ひ當の

仙石總裁は 滿洲の仕事でも內地と同樣に政府が保護奬勵するかどうかによつて本問題は決まる、政府が若し保護奬勵せぬとなればあまり面白い仕事ではない、場合によつては仕事を中止すると言ふが如きこともあり得る事だ

と言ひ解決の鍵が全部政府の決意如何即ち總裁の所謂「滿洲の仕事に政府が內地同樣の保護奬勵を與へるかどうか」にあることを力說して居る、更に右總裁の所謂「政府の保護奬勵如何」について財務上の決定權を持つて居る

井上藏相 は自分が最に仙石氏に差し出した意見は私案に過ぎない從つて內容は言へぬがかういふことだけは言ひ得る、即ち滿鐵といへども一つの事業會社である、故に假りに政府の保護奬勵を受けるにしても時の政府の都合や國際上その他いろ〳〵複雜な故障を伴ふことによつて常に不安を感ずる基礎の下に本事業に着手する譯には行くまい

と語り自分の意見が必らずしも仙石總裁の考へと一致しない點あることを言外に述べて居る、これ等**三者三樣**の暗示的談片を直ちに比較對照して本問題の歸結に對する推斷を下すことの甚だ危險なるは言ふ迄もないが少くもこれ等の談片に徴し本問題の解決がいかに單純に行かぬか想像することは出來るであらう、これに關する穿つた見解としては仙石總裁の意圖は鞍山設置とこれに對する政府の保護奬勵をもつて本問題解決の最善策が不可能と決した場合は本事業を或は中止するか若くは次善策につき改めて考慮するとになるのであらうが新義州設置(若くは關東州內)の如きはその次善策として政府の考慮を促すのではないかと言ふ說がある、目下のところ事業の本質上最も**有利なる**鞍山設置說は總裁の所謂「政府の保護奬勵」について國際關係若しくは財政上その他事務關係において難關があり新義州(若しくは關東州)設置についてはこれが實現を考慮するかによつてその成否が分れるものと見られてゐる、要するに本問題は十四日の會合によつて最後的決定をなすか、また決定しても直ちに發表し得るかどうかも相當疑問であるし、殊に敷地問題については關係者においても依然として豫斷であり決定的推斷を許さざるものがある

重大疑義を存する 國產品の意義、限界
海外事業奬勵に牴觸

【東京特電十三日發】現內閣の唱道する國產奬勵運動に關聯し國產品の意義及び限界が頗る不明確なため二つの重大なる疑義がありこれについて如何にすべきやが今問題となつてゐる即ち

一、外資により經營される工場の製品を一般工場の製品に對してどの程度に保護すべきか
二、外國領土において我國の資本により經營される工場の製品については如何なる態度をとるべきか

などがこれである、殊にその後者に對しては輸入防遏運動の見地から頗る難問視されるに至つたがその一、二例を擧ぐれば

一、臨時產業合理局の發行する代用輸入品調べ第二類第二項の銑鐵は主として現在輸入年額三十萬噸に近い印度鐵を指稱するもパーン製鐵の如きは賑かに日本の岸本商事などの輸入商が約半額の投下資本を行つてゐるがこれが防遏は海外事業奬勵の見地から牴觸することとなきや
一、日支合辦の本溪湖煤鐵公司、滿鐵の計畫する昭和製鋼所その他の滿洲事業或ひは青島、上海等の在支紡績事業の製品を如何に取扱ふべきや

等いろ〳〵の疑問がある、元來これ等の問題は大正九年原內閣當時臨時經濟調査會においても論議されたが保護關稅政策との矛盾に逢着し結局この問題と關稅政策とは切り離して別個の問題として對策を講究すべしと言ふことになつたが、その後政府及び民間において種々講究されたに拘らず何等の名案なく懸案とされてゐるものであるが今回の國產品愛用奬勵問題並びに現に問題となつてゐる昭和製鋼所建設に關聯しても種々議論あり戻し稅その他條約上拘束ある方法によらずして別個にその對策を講究することの必要が痛感されてゐるが民間側でも政府がこの點につき意見を確立せんことを希望するものが漸く多い

アメリカの景氣 いつ回復するか
急速な反動の原因

昨年のアメリカは非常な好景氣であつた、百ドル拂込みのユー・エス・スチール株が八月には二百六十ドル近くに迄上がつた、それが秋には例のパニツクで百五十ドル見當迄下がり、本年の四月には一時二百ドル近く迄戻したが、最近には又復百五十ドル臺に下がつてゐる

▲ ▲

何故アメリカの經濟界に斯く急速な反動が來たか、それを知らんとすれば昨夏迄の好景氣の飽和を知らなければならぬ、六月廿一日ロンドン・エコノミスト誌は次の樣に報じてゐる

アメリカの工業生產費は一九二三年以來急速に低下してゐる、然し一般物價はその割に下がつてゐない、その結果、製造業は著しく有利となつた、圖に乘つて彼等は工場を二倍三倍に擴張した、斯うして生產能力は擴大したが、彼等は製品が安くなることを好まない、價格維持のためにあらゆる方策を用ゐた、これが爲めに或は價格統制機關を作り、又月賦販賣によつて購買を促進した、その結果——少くとも統計上には、在荷の滯積を見るに至らなかつた、然し消費者の手許に於ける在荷は疑ひもなく激增した

▲ ▲

然し昨秋の株式パニツク以來大衆は警戒を始めた、製造業者間の種々の協定も今や何等の效力なく物價は下落の一途を辿つてゐる、諸會社の第二期、即ち四、五、六月の決算報告は第一期より更に惡いらしい、ニューヨークの株式が六月中旬以來急激に下落したのは右の事情に基くのである、とはいへ日本の現狀に較べたらアメリカの不景氣はさしたる事でもない、株價の指數は一九二六年(昭和元年)の平均より尙四割高を示してゐる、百ドル拂込みのユー・エス・スチール株は尙百五十弗臺にある

▲ ▲

エコノミスト誌は次の如く結論してゐる

アメリカ經濟界の下り坂はどこ迄續くか——これは主として本年の世界の農產物收穫高如何に懸つてゐる、若し棉花及び穀物の收穫が少なければ回復は容易であらう、然し反對に本年も多額に上れば(現在の見込はさうである)景氣はまだ惡くなるのを見なければならぬ、何故ならば收穫が多ければ相場は必然的に下がる、さうすれば農村の購買力は極度に低下し、又中西部の銀行中には破綻するものが出るであらう、それは農民に對し貸過ぎてゐるからである

批准については 西園寺公は樂觀
幣原外相の車中談

【東京十三日發電通】幣原外相は十三日午前八時半坐漁莊に西園寺公を訪問し二時間半に亘りロンドン條約に關するその後の狀勢につき說明諒解を求め午後一時五分江尻發列車で歸京五時十分新橋驛着官邸に入つたが車中上機嫌で語る

ロンドン條約についても十分な話が出來老公からも色々話があり十分諒解を求むる事が出來たと思ふ老公はロンドン條約の最後案回訓前後は心配されてゐた樣だが批准については心配して居られぬ話が餘り長くなつたので「お疲れではありませんか」と尋ねたら「ナニ大丈夫だ悠くりお話して行け」とのことで遂に二時間半も御邪魔した條約の樞府諮詢前に再び私も濱口首相も訪問することはない老公の話題が非常に豐富で色々の話があり親交のあつた故クレマンソーやマクドナルド氏等の話等もされた

婦人公民權 資格制限

【東京十三日發電通】婦人公民權については前議會の安達內相の言明に基き漸進主義に依り先づ市町村の婦人公民權より附與する方針の下に調査中であるが問題となるのは左の二點である

一、年齡制限を男女同樣二十五歲とするか婦人のみ三十歲とするか
二、戶主のみに限るとするか

右につき內務當局でも愼重審議を重ねてゐる

海軍條約問題觀
貴族院に兩樣の意見

【東京十三日發電通】海軍々縮問題の成行につき貴族院側では左の如く兩樣の觀測が行はれてゐる即ち民政黨の與黨たる同成同和會方面では

國防の責任者たる海軍大臣及び軍令部長が新國防計畫に依り十分國防の缺陷補充の方策を講ずる以上政府は確信を以て樞府に諮詢の奏請を急ぐのが當然で樞府が國防責任者の言明を以つて尙ほ國防に危惧を懷くは責任政治の本義を沒却するものである政府が絕對多數を制する國民的背景を以て本條約を提げ樞府に當る時は樞府の難關も切り拔け得るであらう何れにせよ現內閣は若槻內閣の時と異り堂々決戰の決意をこそ有して居れ決して退却の意志は斷じて持つてゐない

となし政局の前途にも何等切迫せる事態なしと見てゐる、これに對し硏究會公正會交友俱樂部の諸會派中強硬論者の間には

政府は軍部の意嚮を圓滿に纏め得ずと見極めるに及び樞府に強硬態度を以て臨まんとしてゐるがこれに依り假りに政府所期の目的を達し得たとするも條約成立の曉は正式軍事參議官會議にかけ新國防計畫を決定せねばならず軍部方面の強硬意嚮は益々度を加ふる事は必然であるから事態は更に紛糾を生ずべく政府が形式理論を今日主張する事が果して責任ある行動といひ得るか疑問である

と評してゐる

銀行減配の傾向
事業會社程打擊はないが 一取引先の不況を考慮

【東京十三日發電通】本年上半期の銀行の決算については財界不況の打擊を蒙れることが事業會社の著るしくないのと先年の金融界の動亂を機會に大體の整理が濟んでゐる關係から營業成績に甚だしい缺陷を生じてゐない、然し株式の値下りに依り手持有價證券の銷却を必要とするものが相當あるのと取引先の營業不振の影響が漸次銀行に及んで來る爲めから行內留保を多くしこれに備ふる目的から株主配當を減ずる傾向は地方銀行において特に著るしく縣內同業者の申し合せにより減配を決定せるものは七縣に及び東京大阪の有力銀行にては過般の第一銀行の減配に次いで三十四銀行も一分減配したのみで三井三菱山口三行は据置きとなる模樣で安田住友兩行は目下日和見の態度を執つてゐる

北方の擴大會議 愈よきのふ成立
直に政府樹立を協議

【北平十三日發電通】合法的北方政府組織のため過去半歲に亘り實力派及び左右兩派間に揉み拔かれた擴大會議は本日午後二時豫定の如く開會式を擧行され茲に南京政府を否定する國民黨中央黨部擴大委員會の成立を見た、定刻前陳公博、白雲梯、謝持、鄒魯氏等左右兩派要人及び山西、西北派代表等喜色面に溢れて續々參集し左派の王法勤氏年長の爲め議長席に着き孫文の遺訓を讀み上げ次で汪兆銘氏を第一に閻錫山氏を第二とし以下年順に依る各派聯盟宣言を讀み上げて各自署名をなし三時半式を終る、斯くて北方政府樹立の第一歩はこの刹那に確立され署名者は式終了後直ちに談話會を開き政府組織の實際問題の商議に移つた

奉派抱込の最後的運動に
中央の劉光氏赴奉

奉天派に對する最後的抱込運動の使命をもつ國民政府參謀本部第一廳長劉光氏及び吳楊氏(吳鐵城氏妻)は十三日入港の榊丸で來連したが、劉氏は

今夜の急行で奉天に行き張學良氏に面會するつもりです、滯奉期間は不明です、吳楊氏とは船の中で一しよになりました

と言葉少なく語つた、又吳楊氏は

主人からすぐ來いといふ電報が來ましたから出發しました、當分奉天に滯在せねばなるまいと思つてその用意をして來ました

船が岸壁に着くと出迎への吳鐵城氏は船中に飛び込み三人で親げに語り合ひヤマトホテルへ自動車を飛ばした、尙三氏は同夜急行で奉天へ向つた

孤立の韓復渠軍 投降か或は退却
津浦線は山西軍苦戰

【濟南特電十三日發】膠濟線方面では張蔭梧氏指揮の下に、中路は王靖國軍、右翼は李服膺軍、左翼は楊澄源軍の陣容で韓復渠軍を逐次壓迫してゐるが十二日臨淄、青州を完全に占領した、韓復渠軍は蔣介石氏から最近相當巨額の軍費を支給されたので頑強に抵抗してゐるが山西側では隴海線方面を掩護する急に迫られ目下代表を派して第二次妥協を交渉中である、韓氏は已むを得ざる時は青島へ退却すべく奉天側へ現銀三十萬元を提供するから青島を讓渡せよと申し入れたが拒絕されたと傳へらる、斯くて韓軍は孤立無援、反蔣側に投降するか、陸路海州へ退却するか注目されてゐる、津浦線では傅作義氏指揮の下に李生達軍、秦觀紹軍は曲阜に在つた夏斗寅軍の一部を驅逐して目下兗州を包圍攻擊してゐるが蔣介石氏は武漢方面から轉送した軍隊を以て陳調元、馬鴻逵軍を援助せしめつゝあるので山西軍は苦戰のやうである、津浦線の客車は南驛まで通じてゐる

反對議員が缺席し 米特別議會開けず
大統領等對策に苦心

【ワシントン十二日發電通】ロンドン條約審議のアメリカ上院特別議會は條約反對議員が同日の出席を拒絕した爲め十二日は開會不能となりフーヴアー大統領は共和黨の上院議員ヘンリー・アーレン、ジョン・トーマス、アーサー・ヴアンデンバーグの三氏をラピダンの山莊に招致し條約批准對策につき協議した尙ほ條約反對派の巨頭モーゼス氏は二十三名の上院議員はノーリス氏の提議「上院は將來本條約の秘密協約の存在なしとの條件の下にこれを批准す」との留保條件を附する事を承認したと言明してゐる、尙反對派中には十九日前に票決をなさんと希望し投票の遲延に不贊成を唱へてゐる者もある同じ反對派の巨頭たるジョンソン氏は大統領が條約關係書類の提示を拒絕したのは右書類に依つてアメリカがイギリスの最初の提案をその儘承認せしめられたる事を暴露するが爲めであるとなし大統領の拒絕を難詰してゐる

南北の勢力 伯仲す
伊藤氏來連談

長らく南京に駐在活動してゐた滿鐵伊藤武雄氏は今回の異動で本社に轉勤を命ぜられたので十三日入港の榊丸で來連したが左の如く語る

南京には一年餘りゐました、最近の形勢はまあ五分五分でせうが武力での解決は不可能と思ひます、しかし奉天派が援助した方が勝つでせう、蔣介石氏もこゝ二ケ月位で何とかならなければとて奉天からの申込みは何でも聞いて顧援を賴む樣子です、銀安で皆困つてゐますが、とくに錢莊の影響は甚しい樣ですしかし支那銀行は銀の思惑はあまりやらないから倒產するところはないでせう

南北戰死傷者 廿萬人

【奉天特電十三日發】目下滯奉中の南京政府外交部次長王家楨氏は左の如く語つた

南京を立つ時には三週間の豫定で歸奉したが豫定を變更し今の處何時赴南するか判らぬ、今回の時局は相當長びく模樣であるが戰禍を受けての住民の苦痛は目もあてられぬ程慘狀を極めてゐる今回の戰亂で死傷數は廿萬人といはれてゐるがその中でも飢餓その他で死亡したものが相當多數ゐる、蔣介石氏もあの多い野菜も食べられないし戰場にあつて石混りの米と鑵詰とで僅に飢を凌いでゐる有樣である、南京政府內の改造論が傳へられてゐるやうであるがそれは他部の宣傳で現在そんな模樣は一寸も見受けなかつた

小坂次官、記者團 意見を交換
きのふヤマトホテルにおいて

大連滯在中の小坂拓務次官は久し振りで小閑を得たので十三日午後一時半からヤマトホテルで新聞通信雜誌代表者と會見し意見を交換した、先づ新聞代表者等から

△西片氏(滿洲報) 在滿邦人經營漢字新聞を如何に見るか、對支文化事業を拓務省に移せ
△井口氏(大連商通) 滿洲に於ける電信料金の高きことは通信事業の發達を阻害す
△石村氏(大每) 關東廳を大連に移せ、滿鐵を民營とせよ
△津上氏(日滿) 對滿蒙政策の確立、鬪爭的思想の殖民地侵入防止
△吉田氏(極東) 商租權問題の解決、治外法權撤廢の不可

等について意見を述べ、小坂次官は一々諸問題に就て意見を交はし對支文化事業は同感である、通信料金問題は極力値下げに努力する、關東廳移轉問題は最早一般の輿論であるから大連移轉を實現すべきである唯費用の問題だけである、治外法權は支那を全體として見るか滿蒙を別に見るかで見解が異つてくる、自分は別に見るのが至當だと思ふと述べ三時會見を終つた

佛議會難關
諸法案は暑休明まで持越す

【パリー十二日發電通】フランス議會にて討議中の諸法案に關し議會の形勢は政府に執つて必ずしも安心出來ざる狀態なるを察知し右諸法案の審議を議會夏季休暇明けまで持ち越す事とした尙外務長官ブリアン氏が十日下院の外交委員會にてフランス政府がイタリーに對し送達したと發表した覺書の中フランスは本年十二月初めまで新艦の建造を開始せざるべしとの條項は正にイギリスの監視にて發表されたもので且つフランスがイギリスをしてフランス提案の歐洲聯邦案を快諾せしめんとする下心を以つてなされたものなりといはれてゐる右につき有力方面では右フランスの讓歩は豫定の海軍計畫に影響を與へるものでないと見てゐる又フランス官邊では海軍々縮に關し目下停頓狀態にある佛伊關係は最早打開せられまいとの意見が有力である

北寧線の收入狀態

【奉天特電十三日發】北寧鐵道五月分の營業成績は灤縣以西關內線四十驛の收入百八十二萬七千六百十四元八十六錢、朱各莊以東關外線八十五驛の收入百卅一萬六千六百八十四元四十一錢、合計三百四萬四千二百九十九元二十七錢でその內乘客運賃は百十四萬九千三十四元六十八錢、人員六十一萬二千二百三十五人、貨物收入百七十三萬七千三百三十五元十四錢、七十九萬一千五百八十一噸、雜收入十五萬七千九百二十九元四十五錢である、尙十萬元以上の收入を擧げた驛は古冶、天津東站、北平、通遼、瀋陽、皇姑屯、唐山、營口の八驛である

人事

▲後藤朝太郎氏(日大教授) 十五日大連入港あめりか丸にて來連の豫定
▲有馬豪藏氏 同上歸連
▲有馬邊氏 同上
▲竹內克巳氏 同上

安樂椅子

ロンドン條約諮詢問題やら財界不況對策やらで一層頭を惱めてゐる濱口首相は十二日午後の暑い陽盛りを自動車で夏子夫人、令孃富士子さんを伴つて山に圍まれた鎌倉の別莊に入ると首相は白地に縞の浴衣に着替へて翠嵐の凉を入れ乍らベランダの籐椅子にどつかと腰を降して打寬ぎ乍ら先づ別莊生活を語る

僕の別莊生活は毎朝七時半に目を醒し夜は十一時には就寢する、晝は一時間位午睡を貪ることにしてゐる、書物などは讀まず只妄想に耽るのみだ、これで時間は結構過ぎて行く、かうした暇な時難かしい書物など讀んだつて頭に入らぬものだ、忙しい時に暇をぬすんで讀む方が理解するものです、靜かな處で考へ事すると却つて心配するものだ、忙しい中で物を判斷する方が良い事は心が緊張してゐるからだらうと思ふ、僕は講談本などは嫌ひだこの別莊は山の中だが海岸は砂が燒けるから暑くていけない

といふ風にどこ迄も濱口式の理詰めの總讃振りである【東京十三日發電通】

必死の奮鬪奏功 實業見事雪辱す

きのふの對法政第二回戰

7A—6

法政對實業第二回戰は十三日午後三時二十分より實業球場にて井上(球)上條(壘)兩氏審判法政先攻で開始實業ナイン雪辱の意氣旹に見え必死に攻防の結果遂に七A對六の接戰で實業の復讐成る閉戰五時五十分

緊張せる試合

感激鈍く興趣も散漫だつた第一回戰に比べ實に大向をうならせる試合が展開された、法政軍一昨年渡米した神港商業のバツテリー西垣倉を起用し實業木下をプレートに送り岩瀬一壘に安藤弟を二壘に入れ右翼には源川を配置すただし源川の右翼は彼の投球法がアンダースロー、オンリーなる點を考察に入れその起用をあやぶまれて居たが幸ひにしてプレーもなく事なきを得た

實業リードす

第二回の一點は安打に出でし渡邊二盜し、源川の三僃を久保三進の渡邊を刺さんとし野選にした結果渡邊三呎ライン以外を走つたとて法軍より抗議があつたが遂にこれが因して最初の一點をものにし實氣をよくす、第三回津田高目の球をたゝいて右翼線寄り三壘打としたが後援續かず三壘立ち往生となる、續く第四回源川安打に出で二盜をくわだて遊これを刺さんとして二壘に走らんとした時中島の單打遊左を拔いて遂に一點を得、この回中島の二盜をたすけるべく安藤第一球猛烈に高い球を空振捕手ためにまごつき二壘に悪投危機と見えたが二者凡退す、かくして實前半幸運に惠まれながらリードす、第六回實渡邊一死後ストレートをたゝいて二壘打し木下野選に生き(此時若林立つ)源川渡邊の中前單打に木下本壘を衝いて還ることこの際中堅より二壘、捕手へとボールをリレーさしたがさほど深いところで僃つた球ぢやなかつたのだから思ひ切つて中堅が本壘に投げた方があの得點を許さなかつたと思ふ

全滿クレー射擊大會豫選(きのふ春日池畔で)

下劣な彌次飛ぶ

第七回久保三僃トンネルに出で遊前單打に出でた藤井と一二壘により無死の好機をつかんだ其上ボーク問題で暫くごたごたしたが結局宣告通りボークとなるこの時スタンドより飛ぶ彌次の下劣さには些かあきれた、熱狂することも甚だ結構なことだが相手方を彌次つたり審判官を彌次つたりすることはフアンとして一番排斥すべきものである

宮武の三壘打 大勢遂に決す

同裏實一死後津田二壘打を放ち續く宮武インコーナーのボール眞中に流れ込んだのをたゝいて三壘打として一點を得、すでに大勢決せりと思はせた

法政急追空し

然るに第九回法の追擊急をつけ風雲の動きを見せた左前單打に出でし藤井、久保の遊僃で二進したがスライディングせなかつたために生くべき壘を死せしめたが矢野のさほど難球でなかつた捕邪飛を渡邊ポロリと落せしをきつかけに遂に矢野の安打で久保還りPH田坂の二壘打で矢野、若林と還つて一點をリードした結果より論ずるとき矢野の安打で久保一擧生還にかへらず彼がホーム前でベンチに同つて入つて好いのかと質問した如く(フアンがこれを聞いて彌次を飛ばしたが)三壘に居つた方が或は一層實業をして苦戰に陷いれたと思はれる同裏實もまた奮起し二死後連續安打三本を見舞ひ續く木下の三僃を坂根失して遂に破れたこのH木下の好投に對峙して津田渡邊、中島、宮武の當りは正に榮ある復讐戰へと導きしものである

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
(法)得點	0	0	0	0	1	0	2	0	3	6
(實)得點	0	1	0	1	0	2	1	0	2A	7A

試合經過

▲第一回　法政武田、刈田共に遊僃、島一飛△實業中川三僃、津田投僃、宮武三振

▲第二回　法政藤井投僃、久保三振、矢野中飛△實業(法政島退き長澤左翼に入る)渡邊二越單打に出で二盜、木下三振、源川の三僃、野手渡邊にタツチを誤り渡邊三進し源川一壘に生く、中島遊擊左をゴロに拔き渡邊還り源川二進、安藤弟投飛、岩瀬投僃に止んだが實業一點を先取

▲第三回　法政西垣左飛、倉四球に出たが大瀧の遊直で併殺△實業中川右飛、津田右翼線に三壘打したが宮武遊僃、渡邊投僃して空し

▲第四回　法政武田四球に出で刈田のバントに二進し投手の暴投に三進したが投手牽制球に死し長澤中飛△實業木下三僃後源川遊越單打に出で二盜、中島も遊越單打して源川三進す、中島二盜の時捕手二壘に高投し源川生還、中島は三壘に進むも出すぎて捕手の好投に三壘に刺され安藤弟一邪飛に死んだが實業更に一點

▲第五回　法政藤井投觸單打久保投僃失で藤井二進、矢野投前バントし走者二三進、西垣三遊間を緩くゴロで拔き藤井還り久保三進す、倉捕邪飛後西垣二盜したが大瀧も捕邪飛法政一點を返す△實業岩瀬投直、中川三僃、津田三振

▲第六回　法政武田三振、刈田四球に出たが二盜に死し長澤三僃△實業宮武中飛、渡邊左中間二壘打、木下の遊強僃野手三壘に投じたが一瞬の差でセーフ(法政西垣、倉退き若林投手、田坂捕手となる)源川、渡邊のスクイズ見事に成り源川の死ぬ間に渡邊生還、木下二進、中島二壘右に單打して木下生還、安藤弟の中飛に止んだが實業また二點

▲第七回　法政藤井遊擊右をゴロで拔き久保の三僃トンネルに二進し更に投手ボークで走者二三進、矢野投僃で藤井本壘に死に久保三進す矢野二盜、若林左中間に痛烈な二壘打して久保、矢野生還、田坂、大瀧共に左飛、法政二點を返して逆一點△實業岩瀬投飛、中川二僃後津田右中間二壘打し(代走安藤弟)宮武亦中堅右に三壘打して安藤弟生還、渡邊二僃

▲第八回　法政(實業岩瀬投手木下一壘に更代)武田一邪飛、刈田一僃、長澤三振△實業木下三振、源川、中島共に遊僃

▲第九回　法政藤井左前單打したが久保の遊僃で封殺岩瀬の牽制球を一壘手逸して久保三進、矢野の一僃、野手後逸して久保生還(PH坂根矢野に代る)若林中前單打して坂根二進PH成田(田坂に代る)右翼左に絶好の二壘打して坂根、若林生還、大瀧の遊僃で成田三進武田の捕前僃に漸く止んだが法政一點を勝越す△實業(法政矢野、田坂、久保退き成田捕手鈴木投手若林一壘坂根三壘となる)安藤弟四球を利し(PR武井安藤に代る)武井二盜、岩瀬二僃トンネルに生きる間に武井生還(法政若林投手鈴木一壘に更代)中川の投手パント岩瀬を封殺、中川二盜に倒れ二死となつたが津田二三間單打、宮武三遊間僃前打、渡邊三僃內野單打と安打續出して滿壘となり滿場騷然、木下二一)後の三僃野手失して實業遂に決勝の一點を揚げ法政恨を呑む

(實業)

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7	中川	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0
5	津田	5	2	3	0	0	1	0	2	1	0
6	宮武	5	0	2	0	0	1	0	2	5	0
2	渡邊	5	2	3	0	1	0	0	6	2	0
13	木下	4	1	0	0	0	2	0	2	6	1
9	源川	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0
8	中島	4	0	3	0	1	0	0	2	0	0
4	安藤弟	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0
PR	武居	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
31	岩瀬	4	0	0	0	0	0	0	9	0	0
	計	37	7	12	1	4	4	1	27	14	1

(法政)

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8	武田	4	0	0	0	0	1	1	2	0	0
6	刈田	2	0	0	1	0	0	1	3	3	0
7	島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	長澤	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9	藤井	4	1	3	0	0	0	0	1	0	0
5	久保	4	2	0	0	0	1	0	1	4	0
5	坂根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3	矢野	3	1	0	1	1	0	0	15	0	0
PR	坂根	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
13	鈴木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	西垣	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
131	若林	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
2	倉	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0
2	田坂	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
2	成田	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
4	大瀧	4	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	計	32	6	7	2	2	3	3	26	11	2

△三壘打津田、宮武(一)△二壘打若林、成田、渡邊、津田(一)△併殺實一一宮武、岩瀬△暴投木下一△ボーク木下一△殘壘法(四)實(八)△時間二時間三十分

撫順頁岩製油品 初納入は來月か

上京中の牧野囑託 海軍側と契約交涉

【東京特電十二日發】撫順オイルセール工業の製油作業は開始以來頗る順調に經過し豫想以上の好成績を示し愈々海軍に對する納入の可能性が確實となつたので牧野囑託は先般上京以來海軍省との間に納入契約其他につき交涉中であるが本月二十四、五日頃までには製油のサンプルも到着し納入契約も略成立する見込であるから多分月末頃までには愈々第一回の納入を行ふ運びに至る筈であるが、納入數量は當分一航海につき約二千噸、即ち一ケ月四千噸位の見當であると

歐洲からの土產話

米國に二ケ年間航空學の實驗研究を遂げた航空兵大尉駒村利三氏、歐米の上下水道を視察の名古屋市役所技師池田篤三郎氏、大藏省財務屬迫水常久氏等の一行が十一日の歐亞連絡で來哈、二氏はトルコ大使館夫人は直ちに歸國したが池田迫水兩氏は北滿、駒村大尉はグランドホテルに投宿十二日南下した人々の土產話(ハルビン特信)

ロシヤの武器は歐米に優る

駒村航空兵大尉語る

米國では各大學に飛行機に關する研究講座が設けられてあることは日本と變りはない、工場その他を視察したが、歐米各國の比較をすることは出來ない、一般に民間航空の發達してゐること、航空保險の完備してゐる點は日本より進んでゐる、飛行機製作、陸海軍機等については專門的のもので各國ともに特長があり其の優劣は判らぬ、車窓から眺めた範圍で詳しいことは知らぬがソウエート聯邦の飛行機及び新進科學的の武器の發展は歐米より優つてゐると直感させられた

下水道の設備は米國が第一

池田名古屋市技師談

歐米都市の上、下水道の設備は各都市ともに相當發達してゐる米國は何といつても金があるので設備は行届いてゐる、下水道管は世界各國ともコンクリートを使用してゐる點は同一である米國では汚水、糞便の排除に惱んでゐる土地はなかつたが、英國はテームス河に放流し河水が汚れるので困つてゐた、今度名古屋では百五十萬の人口を豫想し水道を設備中で、二千五百萬圓の經費を支出して下水道の完備を近く終る筈である、糞便の始末が惡いのはロシヤと支那、日本位ゐで歐米各國は早くから排泄法を良くしてゐるので糞便を肥料にしてゐるものはない、名古屋の如き一ケ年百萬圓の糞便排除料を支出してゐては餘りに無駄だ

英兩大學軍 米チームに敗る

【スタンフオードブリツヂ(イギリス)十二日發電通】ケンブリツヂ、オクスフオード兩大學の聯合チームはアメリカのコーネル、プリンストン兩大學の聯合チームとの對抗陸上競技にて七對五でアメリカチームに敗れた

ダブルスで日本惜敗

對伊デ盃歐洲ゾーン決勝戰

【ゼノア十二日發電通】デ盃歐洲ゾーン決勝戰日伊戰は一勝一敗の後を受け十二日ダブルスを行つたが、原田安部組は大接戰の後惜くも左のスコアで敗れた

モルプルゴ・ガスリニ(伊)　八—六　九—七　六—八　二—六　六—一　原田・安部(日)

試合經過【東京特電十三日發】十二日ゼノアにおける日伊デビスカツプ試合經過左の如し

今日の日本敗退は公平な專門家も之を當然とし殊に作戰においてイタリーに一日の長があつた日本選手は正確さを缺ぎ原田は今日はスマツシングの力弱く且つしばしばドライブをかけ過ぎて失策した、安部のヴアレーもあまり上出來ではなく一方イタリー側の正確なドライブ、殊にガスリーのヴオレーはすばらしかつた、しかし二セツトを奪はれた後第三セツトで日本はストレートで敗れるかと見えたが、必死の奮鬪によりジユースを繰返し第三セツトを奪つたときは息詰まる接戰に滿場咳一つする者もなく、五千の觀衆は一度に萬雷の拍手を送つた、これに力を得た日本は第四セツトを奪つたが第五セツト簡單にイタリーの勝となり遂に日本はダブルに敗退した、もし日本が第二セツトで四對一とリードした時一氣に敵を倒し得たら日本が勝つたかも知れぬと言はれてゐるが、いづれにしてもダブルに敗れては十三日シングルに原田がステフアに勝としても太田がモルプルゴを破るは困難とされ、結局日本の歐洲ゾーンの覇權を握る可能性は尠くなつた

岩手醫專の盟休

無試驗開業資格の問題で 文部省の態度に不滿

【盛岡十三日發電通】無試驗開業資格を得べく學校當局に要求すると共に文部省に陳情してゐた岩手醫專では學校當局の煮え切らぬ態度に憤慨し遂に同盟休校に入つたが盟休本部を市內に設け極力學校側の切り崩しに備へ五百名の全生徒は氣勢を擧げてゐるが學校側は十四日より三日間臨時休校を發表し學科試驗は追つて發表する迄延期された

國營、公營事業の爭議調停法

社會局で制定を研究

【東京十三日發電通】國營乃至公營の事業における勞働爭議に對しては公共利益を害する點を考慮し現行の勞働爭議調停法では事態發生後發動するものなる爲め保安上十分な效果を擧げ得ぬので內務省では社會局をして右爭議防止の爲別法規を制定すべく諸般の調査を行はしめてゐるが同法規の中心項目たるべきは左の二點である

一、公營業の爭議に對しては相當の豫告期間を設け豫告せしむ

一、當該官廳又は公共團體は勞働條件の改善を前提として爭議を制止若しくば延期せしめ得る事

海運界不振深刻

六十五萬圓投じた貨物船 十五萬圓でも買手が無い

【東京特電十三日發】昭和三年六十五萬圓を投じて建造された四千噸級優秀貨物船が現在十五萬圓でも買手なく船主側では四苦八苦の悲境に寧ろ債權銀行の差押へをさへ希望して居るが、銀行も亦二の足を踏んで差押へを中止した話がある、この船は神戶三上汽船の三上丸、相生ドツク三十五萬圓、灘商工銀行三十萬圓の擔保と爲つて居るが、船會社も海運界の不況に手も足も出ず、銀行の差押へを待つて居る程だが一方銀行は三十萬圓擔保の汽船が十五萬圓にも賣れぬので差押へを躊躇し同船は清水港出帆南洋に向け航行することゝ爲り、差押へを免れたが海運界の不況深刻を語るものである

長野製糸家 全休運動

【上諏訪十三日發電通】長野縣上伊那生糸同業組合代議員は十二日夕諏訪生糸同業組合を訪問糸價維持のための休業案を示し贊同を求めたので同組合は直ちに協議會を開いた結果八月一日より同三十一日まで一ケ月間全休する事としたがなほ糸價回復の見込みなき時は縣外工場を含む全休を斷行することを申し合せ近く正式代議員會を開き實行を誓約した伊那代表は更に松本に赴き同地の製糸業者に同案を示し贊同を求めた

松本市は不贊成

【松本十三日發電通】操業一月間休止を提唱した上伊那郡生糸同業組合の平澤組合長以下二十名は上諏訪より當地に來り生糸同業組合にて幹部と會見一月休業に協力贊成せん事を求めたが松本市內は既に休業してゐる者もあるが一月休業案には直ちに贊成し難き旨を回答した

日大雄辯會講演行脚

來十五日來連

東洋文化アジア精神文明を高唱して眞の日支親善を主張し廣く滿洲各地に講演行脚せる日本大學雄辯會員は本年も夏期文化講演の途に上り七月十二日あめりか丸で神戶を發し十五日早朝大連に到着、十五日大連十六日奉天十七日旅順において熱辯を振ひ十八日大連を出發し上海、青島、南京において講演を爲す豫定であるが一行は何れも活氣旺溢の青年揃ひで從來の姑息な日支親善論を排し生命と生命の白熱的融合をとき極東の地に高き平和の殿堂を築かんとする遠大なる理想のもとに兩民族の提携を叫ぶもので日支青年から多大の期待を以て迎へられんとしてゐる、尚會員の分擔講座は左の通りである

特別講座(教授)後藤朝太郎
社會學講座(學生)大島久茂
宗教講座(同)中井川朝治
經濟講座(同)山本功
政治講座(同)柳原平三郎
法律講座(同)細士清
教育講座(同)藤田季俊
社會政策講座(同)佐久間勝森
哲學講座(同)三原正雄

小學校教員減俸斷行

長野縣本牧村で

【望月十三日發電通】長野縣北佐久郡本牧村では十二日午後村役場で郡下町村長會議で決定した小學校教員の減俸につき協議の結果、他縣に率先して減俸を實施するに決し學校當局の諒解を得五十圓以上三割五十圓以下二割平均二割五分の減俸をなす事となつた

京釜線開通

【京城特電十三日發】京釜線の不通箇所烏致院、大田間は十三日午前十一時復舊を見たので全線復舊を見た

京釜線水害

【京城特電十二日發】十二日早曉より降り出した豪雨の爲め、京釜線平澤西井里間線路に約一尺浸水して不通となり成歡平澤間の切通し崩壞して同樣不通となつたが午前九時復舊天安成歡間築堤五坪崩壞し一時不通となつたが午前八時半開通、京釜線は幹線なので鐵道局では全力をつくして復舊に努めてゐるが明朝六時までには全通の見込み

水師營方面に電話架設

最近における水師營方面及び南北鴉鵲嘴屯一帶には邦人の農業者又は果樹經營者の居住する者漸く增加し加ふるに中國人側にても取引の增加に伴ひ商業殷賑の傾向を示し物資の集散多く相當の通信力ある狀勢に鑑み旅順民政署地方係においては旅順郵便局に向け電話の加入區域擴張方を慫慂する處があつたが既に電話加入の申込者は十五名に對し一日も早くこれが實現方を希望してゐる、因みに從來の區域は僅か楊樹溝迄のみに限られてゐたのが延長されるので實現の上は双頭瀏南山裡方面の乘合自動車運行と共に異常な發展と利便を促し物資其他の集散も著るしき傾向を示すに至るであらうと觀測さる

學堂教員檢定試驗

關東廳普通學堂、公學堂教員檢定試驗は來る八月七日から十二日まで旅順師範學堂において施行の筈であるが、受驗志願者は八月一日まで書式の願書を關東廳に提出を要すると

滿日地方版

奉天

洋車の賃銀 統一案出來上る 實現せば市民は利便

奉天署では從來不統一のまゝ支拂はれてゐた人力車の料金を乘車地から距離を定めて大體左の如き案を樹て實施方法を進めてゐるがこれが實現の曉には市民は大いに惠まれて來る譯である

一、乘車地より十五町未滿五錢（未成道路及び雨雪天の場合は五割增とす）
二、乘車地より十五町以上一里未滿十錢（同上）
三、附屬地より毛織會社附近十五錢（雨雪天の場合は五割增とす）
四、附屬地より大小西邊門內十錢（同上）
五、附屬地より城內二十錢（同上）
六、附屬地より東南北門外廿五錢（同上）
七、附屬地より北陵四十錢（同上）
八、半日借切六十錢
九、一日借切一圓

奉取手數料 割戻問題

奉天取引所信託會社の總會を眼前に控へ組合側では手數料割戻しに關し明石、山下、林、赤穗の諸氏が代表となり十一日朝商工會議所にて吉川、三谷の兩重役に會見し懸案に就て種々打合せをなす處あつたが吉川取締役は語る

今回は總會における手數料割戻問題に關し双方の懸案を協議したまでゝ今回會見は誤算問題には何等關係ない、しかし該問題は何時までゝも持續する事は双方とも不利益であるからこの際相互に讓歩し圓滿に解決したいと云ふ意志を持つてゐるから來るべき總會には解決の目鼻がつくことゝ思つてゐる

施餓鬼法會

奉天地方事務所主催施餓鬼法會は十二日午前九時から葬齋場にて盛大に施行され引續いて十時からは忠靈塔にて同樣施行され森島總領事代理、小倉所長、守田民會長、鈴木少將、三谷憲兵分隊長、木下在鄕軍人分會長、署長代理その他各代表者參列し十一時頃終了したる後一同は民會墓地に赴き同樣施餓鬼を行つた

鹿野氏個展

故寺崎廣業門下にして現在宗教藝術院にあり東京郊外千葉縣菅野に畫室を設け獨自の藝術を以て認められてゐる鹿野匪石氏は支那旅行により畫材を集め帝都に歸つて個展を催し發表せんとし目下旅行中であるが十四日地方事務所三階食堂に於て個人展を開き同好者の來觀を歡迎すると因に陳列される作品は同氏の環境より得たる花鳥畫及び古典的風俗畫の力作で第一回を大連市に於て發表し奉天に於てその藝術傾向を問はんとするものである

愛劇家座談會

奉天愛劇家第一期卒業生女優村瀨葛十一行は十三日より奉天劇場にて花々しく開演したがその幹部は久仁〓又作、岡部義實、立花馨、加納嚴、

人事

▲菱刈軍司令官 十二日急行にて北方より過奉五龍背へ十五日來奉の筈
▲波田奉天運輸事務所長 十一日夜歸奉
▲張學良氏 葫蘆島に滯在中の同氏は廿一日擧行される講武堂の

町の便り

◇…式參列のため廿日歸奉する由
▲林總領事 近く賜暇歸朝を得て歸京する由
▲入江滿鐵公所長 十一日各方面を歷訪新任の挨拶を述べた
◇市內宇治町東本願寺では十三日から十六日迄每日午後一時、七時の二回盂蘭盆法要を修行し法要中本願寺布教使長崎市會議員三角甯思師の講演あり多數來聽を歡迎する由
◇十一日の議員會で決定した奉天商議の會頭藤田九一郎氏、副會頭西尾一五郎、菅原憲亮兩氏に對し十二日總領事館から夫々認可された
◇瀋陽國民外交協會では十二日午後五時から青年會館に於て演說大會を開き辯士は領事裁判權問題につき交々講演をなし大いに氣焰を揚げ九時頃散會したと
◇十一日午後十時半頃一支那人が奉天驛待合室に於て混雜中の旅客のポケットから掏り取らんとして逮捕されたが彼は哈爾賓公合輪船水手監工員王玉祥（二七）と稱し車內待合室等で掏摸を專門に働いた賊でこれまで三百餘圓を捲き上げてゐることを自白した餘罪取調中

哈爾賓

エスイモンド技師 收賄で下獄か？ 鐵橋架設に絡む疑獄發覺說

ロシア人間では前東鐵管理局技師エスイモンド氏がモスクワに歸還した儘政府のために抑留され投獄されたと傳へてゐる、其の原因は第一松花江及びノーニン河の鐵橋架設に關し現在の橋梁は既に二輛の機關車をもつて多數の貨物車を連結牽引して橋上を走行することはできないピーヤに龜裂を生じ危險であるとの意見からエ氏が改築案を提議したが、最近モスクワ政府交通部からユローロ技師一行が來哈し約十數日に亙り實地試驗の結果、左程危險でないこと立證され、橋梁を請負つた某會社の贈賄事件が發覺しそのために監禁されてゐるのであると、尙鐵道會議で歸國したイリンスキー、ドミトリスキー等の人物も不正事件に引つ懸つて監禁されてゐるの風說が行はれてゐるが、眞僞不明である

無緣佛の回向

異境の空で無緣佛となつた人々のためにせめては心からの供養をせんと、居留民會鈴木理事は十日長濱庶務主任と共に民會墓地に至る墓所を掃除したが、在哈佛教有志團はシベリーお菊木村うめ女の如き女丈夫を始め無緣佛の菩提を弔ふため盂蘭盆には施餓鬼を行ひ勤行をすると

濱江雜俎

東鐵土地局では東部線石頭河子虎林地方に於ける附屬地森林を本年は積極的に伐採し、西部線チョヤ嶺の開發にも着手する計畫を進めつゝあるが、一九二九—三〇年には土地局林區から鐵道に四十七萬クボ、十六萬本を供給した、總額六十九萬八千四百八十三金留に達してゐる

◇

東鐵保健課にてはハルビンに水浴保健場を開設する問題に關し目下調査研究中であるが、主として東支從業員の多期間に於ける保健衞生の點から考案されるらしい

◇

赤いロシヤの國境で無許可入國を企てた嫌疑のもとに逮捕され入露後、サウエート聯邦の北極の孤島ソーンツエー刑務所に收容され三年の刑期を終へて出獄、本年二月ハルビンに辿りつき一時中野淸助方に厄介になつてゐた河田三郎事杉村は再度入露を計畫し發見され咸鏡北道の警察で目下取調を受けてゐると

◇

大連見本市の一部では來る十五日商品陳列館にて午後二時から五時まで三階で見本市を開催する

◇

星ヶ浦其他の海水浴場視察旁々避暑のため露字紙記者グンバー、ウオストーク、ザリヤ、ルーポルの四氏は十日南下出發した

◇

東鐵沿線視察のため南滿鐵道から三十二名を一班として十一組の一行が本月十六日をトップに來哈することになつた

開原

けふから暑休 開原小學校

開原小學校にては十四日終業式を行ひ通知簿交付及び暑中休暇中の注意訓話等をなすと、因に同校の暑中休暇は十五日より向ふ三十二日間である

陸上選手練習

滿鐵開四公對抗陸上競技大會は愈々來る八月十七日鐵嶺新設グラウンドにおいて擧行される昨年の優勝チームたる開原軍は藤井氏監督の下に十四日より每日午後五時より中央公園グラウンドにおいて米津主將以下各選手が練習を開始する

對抗競技打合會

陸上競技關係者は十二日午後二時より地方事務所に集合し鐵、開、四、公對抗陸上競技に關する打合會を催した

滿銀支店移轉

滿洲銀行開原支店は今十四日より元日華銀行支店跡（朝鮮銀行向ふ角）に移轉した

撫順

陸上競技を筆頭 分團對抗競技 あすから各種目にわたり 撫順青年團の新計畫

撫順青年團は團員體育獎勵のため明十五日を皮切に順次陸上競技、野球、庭球、排球、水泳、柔劍道相撲の各方面に亙つて分團對抗競技を行ふ事となつた各種目の內容次の如し

▲陸上競技 百米、千米メドレーリレー、走巾跳、走高跳、砲丸投、圓盤投
▲水泳 五十米自由型、五十米平泳、五十米バック、潛水、二百米リレー
▲野球 硬軟球何れもリーグ戰に依り行ふ
▲庭球 各チームを三組に編成ポイント戰を行ふ
▲排球 三セットにてリーグ戰を行ふ

あす淸潔デー

赤痢その他流行病最盛期の昨今明十五日の淸潔デーは一層徹底的にやられ度しと

八幡との野球戰 あす三時から永安臺で擧行

大連において滿俱、實業と善戰したる關西の雄八幡製鐵所チームは愈々十四日來撫、十五日午後三時半より永安臺球場で撫順野球部と見ゆる事と決定した、實力伯仲の間にあるこの試合は多大の興味を以て觀られてゐる因に當日の八幡チームのメムバーは大略次の如し

1 長友
2 森川
3 花田
4 正田
5 加藤
6 大岡
7 坂戶
8 小坂
9 淸德
中村

撫中生の家出

撫順中學二年生である市內明石町四ノ一當房嘉親（一三）及び春日町五ノ二吉野同（一四）の兩名は十一日朝學校へ行くと稱して家出したまゝ姿を晦まし目下八方搜査してゐるが未だ何等の消息がない、原因は不明であるが一學期の成績もおもはしくないのを、受持教諭より注意されたのも原因の一つでないかと

撫中生の徒步旅行

撫中五年西岡、松浦兩君は暑休を利用し撫順大連間の徒步踏破を企て十二日午前五時三十五分勇敢に撫順を出發、亦同校田村、林兩君は奉撫間踏破のため同じく十二日朝出發した

大石橋

輸入組合の夜店廉賣

大石橋輸入組合の後援の下に商店協會が開催した二回の廉賣は豫想以上の好成績を得たので更に近く夜店廉賣を開催すべく寄々協議中であるが一層信用を博するため優良品を選擇して廉賣に提供すると云つてゐる

十二日の豪雨

十二日午前一時頃より雷鳴轟き沛然たる豪雨は車軸を流すが如く轟々て暴風さへ加はり物凄き有樣であつたが拂曉に至り快晴に歸した

服部氏赴任

大正八年以來大石橋機關區工場工長として十二ヶ年當地に勤續した服部甚助氏は今回瓦房店工場工長として十二日午後四時二十四分發急行にて赴任したが驛頭には多數の見送りがあつた

小林理事歸橋す

大連見本市に團長として出張せる小林理事は十一日夜歸橋した

長春

官帖やゝ見直す 官憲の壓迫が響いて

暴落を示してゐた官帖相場は最近若干見直しの傾向を帶び、金對三百七十吊前後に盛返してゐるが、これについては支那官憲の强力的な彈壓の影響も多分に受けてゐるものと見られてゐる、卽ち崩落の一路を辿りつゝあるに躍起となつた長春地方支那官憲は世界的銀安に追隨して起つた現象をもつて錢鈔業者の模樣的取引の影響によるが甚大であるとなし、城內交易所における官帖の先物取引を嚴禁しこれに背くものは嚴罰に處すべしと命令した、これが爲相當活氣を極めた立會も全く火の消えたやうな淋しさを見せ錢鈔業者の打擊甚大なる模樣である

教育映畫公開

滿洲公私經濟緊縮委員では目下各地に教育映畫を公開してゐるが、長春では教化聯盟が主催となり十五日午後八時から室町小學校々庭で公開すると、なほ入場料は會費として大小人を問はず五錢を申受ける由

淫賣取締り

最近支那人側並びに日本人側宿屋飲食店等で密淫賣が行はれるといふ噂を耳にした、長春警察署保安係では近く宿屋、飲食店を一齊に臨檢し嚴重取締る方針で尙派出所とも連絡を採り不時臨檢を行ふといふ

大岩所長招宴

新任大岩長春地方事務所長は十二日午後七時から料亭開花に在長新聞記者團を招待して懇親宴を催したが非常な盛會で九時半散會した

ホテル納涼園開園

長春ヤマトホテルの納涼園は從來每夜午後六時から開いてゐるが、更に一般に便利を圖る爲十二日から當分の間每日午後三時から十一時まで開園する事となつた

人事

▲西村秀治氏（公主嶺地方事務所長）十日夜來長一泊着任挨拶に各所歷訪十二日歸公
▲籠谷保氏（長春地方事務所涉外係主任）大連に出張中の處十一日歸來
▲コロボフ氏（哈爾賓ロスキースロバー紙社長）外四名十一日過長大連へ
▲大場警部（長春署警務主任）十三日午後四時二十分發にて旅順へ歸來は十八日の豫定
▲大岩長春地方事務所長 十一日范家屯往復
▲平尾地方係長 同上

瓦房店

プール開き

十日午前十時より地方事務所社會課にてはプール開きを行ふたが大人小兒參集して賑はふたこの分では本年も却々盛會を極むるだらう

共同墓地の法要

瓦房店地方事務所にては十六日午後三時より共同墓地にて盂蘭盆法要を營む事となつたので多數參詣を希望すると但し雨天の時は本願寺に變更すると

五湖嘴方面視察

小野村所長佐藤署長に新聞關係者等を加へた一行は復縣五湖嘴における炭坑及び粘土公司の狀況視察に出掛けた一行は十二日自動車にて陸路出張十三日後三道灣より三十里堡經由にて歸任すると

筆劍會例會

瓦房店筆劍會は前西村所長轉任其他にて例會を延期して居たが新小野寺所長着任と共に十一日午後六時より料亭筑紫に於て例會を開催した新任小野寺氏當番幹事高橋氏の挨拶あり宴に移り盛會裡に同十時散會した

安東

競走馬を繞つて 騎手相手の告訴沙汰

安東競馬俱樂部では昨年秋から前後三回に亙り競馬會を開催し相當た成果を納めたが會員中に心がけの良からぬ者二、三ある爲め各競馬每に悶着を惹起し心ある者は安東競馬の前途を憂慮しつゝあるが此處に端なくも競走馬を繞つて醜い告訴沙汰が突發した

事件の內容を探聞する處に依ると昨年安東騎手向上會幹部有竹騎手が競馬を買求める爲め市內大和橋通七丁目齋藤某より金四百圓を借りこれにて馬を買求め他に賣却し右金額は返濟したるの利子として金四十圓の返濟方を迫つたので有竹騎手は昨年の暮右金額を調達しこれを持參したるに何故か齋藤は之を受取らず今年に入つてからまたも利子金を請求し有竹騎手が暫くの間と猶豫を乞ひたるに齋藤某は有竹騎手が奉天井內氏より他に轉賣方を依頼されたる競走馬「岩見」を無斷にて鎭江山麓の馬小屋より自己の家に曳き來りその後有竹騎手が再三再四競馬返戾の交涉あるや月卅圓の飼糧代を出せと迫りその內に右馬を市內某に賣却して終つたので井內氏は有竹騎手を相手取つて告訴する手筈まで整つてゐたのを陸海樓主人橫畑氏が仲に入りこの方は圓滿に納まつたが腹の納まらないのは有竹騎手で僅か四十圓のそれも借用金の利子の爲めの競走馬が取られた揚句他に轉賣せられたるは憤懣に堪へずと遂に齋藤某を相手取つて安東署に告訴狀を提出するに至つたので安東署司法係では齋藤某を本署に招致し目下取調中である

臨時大掃除

安東稀有の豪雨とされた去る八日拂曉の雨で安東市中低地の浸水家屋約八百を算し漏水家屋も亦數百戶を出したので安東署に於ては本十二日頃より臨時淸潔法を兼ね檢病的戶口調査を行ふ事となつた、因に施行區域は低地の浸水地帶を主として逐次高地に及ぶ事になつてゐると

大相撲初日

日本大相撲安東興行の初日は京城方面降雨の爲め更に順延となり初日は來る十七日となつた

人事

▲荒川六平氏（商議會頭）出城中の處十一日歸安
▲大津峻氏（地委議長）出連中の處十一日歸安
▲井料日柏檢査員 十一日出發內地方面へ旅行
▲鮫島警部（安東署警務主任）足部負傷の爲め自宅引籠中

金州

民政支署長の招宴

增田新民政支署長は十二日午後五時より金州小學校々堂において官民多數招待し席上署長の挨拶に對し岩間氏及び曹會長の答辭ありて宴に入り八時頃盛會裡に散會した

遼陽

林間學校 十五日から五日 遼陽小學校生が

遼陽小學校では十五日から暑中休業となるが杵淵校長の發案で左記方法に依り十五日から五日間林間聚落を實施すと

▲第一日 白塔公園午前八時朝會國旗掲揚、國歌、訓話、體操、八時半より九時半まで學習（夏休み練習帳）九時半より十時まで運動、十時より十一時まで自由研究、體操、訓話、唱歌、國旗下し
▲第二日 苗圃他は同上
▲第三日 白塔公園他は同上
▲第四日 苗圃他は同上
▲第五日 白塔公園他は同上

共同墓地の施餓鬼 十六日施行

遼陽地方事務所では十六日午前十時から共同墓地において盂蘭施餓鬼を施行すと當日雨天の際は淨土宗福田寺に於て執行するにつき關係者はなるべく多數參拜ありたしと

警商團募集 匪賊警戒のため

庚遼陽縣長は夏季匪賊警戒に公安局員の補助をなさしむるため十日商務會役員を招集して警商團の組織を慫慂したる由なるが、商務會でも縣長の意を體し直ちに團員の募集に着手したと

演習部隊出發

鞍山附近の演習に參加した奉天駐箚步兵第三十三聯隊將卒七百餘名は鞍山から徒步で十一日午前遼陽着、同日午後一時發無蓋貨物車で奉天へ向け出發した、因みに無蓋貨車搭乘も兵士の體力其の他調査研究のためであると

人事

▲多田第十六師團參謀長 十一日朝歸遼
▲玉木滿洲紡績專務 同上

この母を見よ （六一）

日活現代劇臺本より 畸面座同人構成

映畫キャスト

原作 エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色 八木保太郎
監督 田坂具隆
撮影 伊佐山三郎
父 桑木元 南部章三
母 倭子 瀧花久子
子 中子 松平千鶴子
街の女 祥子 入江たか子
乾氏夫人 英百合子
おみつ 佐久間妙子
臼田夫人 津島ルイ子
娘瑠璃子 小西節子
婦人用品店主 常盤操子
よね 島村靜子
滿村 等 大原仁美
大村書店主 村田廣壽

亡夫の唯一の形見であつた、結婚指輪を犧牲にして得た、中子の藥や營養物は、泥まみれになつて街角に散つてしまつた。

狂氣の如く立ち上つた倭子は、走り去る自動車を見た。がそれは只自動車の後の窓に婦人を挾んで男が左右に乘つてゐるのが、かすかに見られたばかりだつた。

何もかも駄目だ——倭子は、むらむらと起る自棄の感情のまゝ、足元にころがつてゐたミルクの罐を蹴り散らしたりはしたものゝ、苦み拔いてゐる中子の身を想ふと、その昂奮をいつまでも續けてゐることは出來なかつた。いつか、ひしひしとおそうてくる底知れぬ恨と悲しみは、絕望の淚を瞳に傳へてくるばかりだつた。

淚の眼を二度自動車に送つた時自動車は、もう倭子の視野には無かつた。

倭子を倒して行つた自動車、それには誰が乘つてゐたか。倭子さへ想像もつかぬ三人——それは乾夫妻と等の三人だつたのである

これを知らぬ倭子は、絕望の淚に暮れながらも、希望を乾夫人一人に集めて、すがらなければならない夫人のあのやさしさを胸に畫いては自分自身を勇氣づけてゐるのだつた。

これはまた もつたいないことでございます——奧樣

水氣を吸ふて、ふくれあがつたまゝ、道にころがつてゐるパンをおかしく見入りながら酒くさい男が通りかゝりに倭子へ言葉をかけた。

倭子の決心よ、待つてゐる中子の身を想へば想ふ程、堅く强くかためられていつた。

そうだ ほかにもうどうする道もありはしない 乾の奥樣におすがりするばかりが たゞ一つしかない

車輪の跡が深々と殘つてゐる、ぬかるみの路を倭子は、走るやうに乾家へ急いだ。

乾家の玄關口——いくつかの街々を走りながら、中子を案じつゝやつとたどりついた乾家の玄關口ではあつたが、明々と燈のついた玄關の階段に自分の影を見た倭子は、泥によごれたまゝの自分の姿では、ベルを押して家人を呼ぶ勇氣は出なかつた。

やがてあわれにも悲しい倭子の姿は、乾家の勝手口に立つて女中へ取次ぎを乞ふてゐた。

勝手口に立つたまゝ、女中の取次ぎを待つてゐる倭子の耳へ、奧から洩れてくる音樂のメロデーの間に間に、ほがらかな人々の笑ひ聲や拍手のどよめき等が、次から次きと聞えてくるのだつた。

今夜はクリスマスの御宴會で 御客樣を多勢御招待申し上げてをりますので お目にかゝることが出來ないそうでございます

女中は、そう云つて忙しそうな態度で、倭子の立ち去るのを待つてゐた。

堂々たる乾家の邸宅から、慘めな倭子が馳け出た時、倭子の心は暗闇だつた。唯一の同情者——として最後にとりすがつた、溺るゝ者の浮木は、陽に照らされた雪のやうに、はらはらと消えてしまつたのであつた。

地に倒れて泣けるだけ泣きたい倭子ではあつたが、悲しい運命にさいなまれつくした倭子の眼には異樣な光りがあるばかりで、淚の一滴さへもかれ果てゐるのだつた

神樣なんて この世にはないのだ 神樣は私に最後のものを 賣れとおつしやるのかしら

いつか晴れた、冬の夜空の星のまたゝきに、倭子は言葉をかけてゐた

中ちゃん 待つてゝよ！ 母さんは…… 母さんは お前へのお藥をきつと手に入れて 歸るから……

都會の夜の雜音が、冷々と倭子の昂奮を靜めて、石のやうに堅くつめたい冷靜は、二度倭子を現實の苦鬪へよみがへらせるのだつた

「寫眞は平千鶴子」

報 七月十三日 發行所

…增員 …既に確定的 …部長制に伴ひ必要

【東京特電十三日發】滿鐵の理事增員說はほゞ確實なものゝやうである、即ち現在の滿鐵重役の定員は正副總裁の外に六理事(內木村氏內定)であるが同社の定款によれば正副總裁の外に四理事以上となつてをり、最少四理事以上當事者の都合により何人でも增加し得ることになつてをり、その限度についての規定がない、故に今回の職制改革によりて理事部長制を設け部も十二部に增加したので理事も一二名の增員を考慮されてゐたが一名の增員だけは既に確實となり、その適任者を仙石總裁の手許において物色しつゝある模樣である

昭和製鋼所問題は政府の肚一つぢや
齋藤とはまだ話した事が無い
仙石總裁記者と問答

【東京特電十二日發】昭和製鋼所問題に關する滿鐵重役會議後仙石總裁は滿鐵出入記者と會見左の問答を交はした

問 先刻の會議は十四日の準備をされたのか
答 さうぢや
問 くどいやうだが例の敷地問題はどう決まるか
答 何ぢや、まだそんなことを訊いてゐる、どうも君達は分らんネ…よいか斯うぢや滿洲の仕事を內地同樣に政府が補助奬勵するかせぬかによつて問題は解決する 政府が保護奬勵せぬとなれば實際にこの仕事はやるものではない、だからその政府の肚を十四日に決めてもらふのぢや
問 敷地をどこに決めるかと言ふ點は?
答 そんなことは相談の上のことぢや、やるかやらぬか政府の肚が決まらぬうちは俺にも判らぬ
問 でも總裁の考へは內々決まつてゐる筈だが……
答 いや……さうぢやあない
問 ではお伺ひするがこのまゝ着手せず中止すると言ふやうなことがあり得るかどうか
答 それな場合によつてはあり得るかも知れぬ
問 松田拓相は中止せぬと言つてゐたが政府の考へがまだ總裁の考へに一致せぬのぢやないか?
答 そんなことは俺は知らぬ何事もよく相談してみねば判らぬ
問 朝鮮側で馬鹿に騷いでゐるやうだが……?
答 ほんとうのことがよく判らぬからぢやョ、第一君たちが色々推定を書くからいかん
問 齋藤總督が決定見合せの電報を打つたことについては、どう思はれるか
答 俺は齋藤とこの問題で何も話し合つたことはない、第一敷地の問題はどこに決まるとも判つてゐないぢやないか
問 朝鮮では仙石總裁橫暴などと檄電を飛ばしてゐるが……
答 ヘヘヘ……ア、どう言ふつもりかナ?新聞などで嘘を傳へるから釣られたんぢやろう
問 新聞にどんな嘘が書いてあつたか、又その程度はどうか
答 半分位は嘘があるネ、現に井上の問題でもさうぢや、俺が濱口に井上の惡口を言つたなどと書いてあつたが、アレは間違ひぢや、俺は濱口には何も言はぬ その代り直接井上本人に「君は役人で何も判らぬ、名醫を呼んで訊け」と言つたのが事實ぢや
問 藏相はどんな態度をとつたか?
答 成程さうぢやと喜んで忠言をきいとつたよ
問 十河氏の理事が決まつて木村氏も內定したとすると、滿鐵理事の缺員は全部補充出來たわけになるか?
答 缺員と言ふが滿鐵重役は正副總裁とも六人以上と言ふことになつてゐる、六人以下なら缺員ぢやが、それ以上は何人でもいい
問 增員說もあるが
答 適任者さへあれば五人でも十人でも百人でも千人でも……
問 社員中に適任はないか?
答 社員理事のことか?、今のところはまだ適任が見つからぬやうぢや

あす最後の協議會
滿鐵側の準備全く整ふ

【東京特電十二日發】昭和製鋼所問題は既報の如く十四日の首相官邸における首相以下關係各閣僚と仙石總裁の會合によつて最後的決定に關する協議會を開くことになつたので

滿鮮關係 各地の運動は今や正に白熱化してゐるが殊に朝鮮側においては仙石總裁の鞍山設置的意向鞏固なりとの說に刺戟され凡ゆる方法を講じてこれを阻止し新義州建設を實現せんため各地團體の運動員を續々上京せしめるとともに拓務省、滿鐵兩當局を初め各關係者に對し毎日夥だしき電報陳情を試みつゝあり同問題の歸趨は今や各方面の注目を惹くに至つたが、その折柄

仙石總裁 は十二日午前中濱口首相、松田拓相を訪問して種々要談するところあり、更に同日午後二時より滿鐵東京支社において伍堂、神鞭兩理事を招致し關係重役會議を開き約二時間に亘り協議し同問題に關する各種の資料を取揃へ會合當日における關係閣僚の質問に對する準備をとゝのへるところあつた

籠城半歲の『諸城』高桂滋軍

寫眞(上)城兵は城壁の下に穴居してゐる、向つて左、城將高桂滋氏が護衛兵一人を從へて從容、閑日月を示してゐる、この穴は卽ち旅長室右は參謀長室「以黨治軍」の標語も面白く參謀長が書類を閱してゐる、この穴は飛行機の爆彈除を兼ねてゐる(下)城兵、城壁の上で包圍軍を睨合つてゐる光景

日曜閑話
蛇を喰つた話

セレベスのミナハサ半島を旅行したときだ、メナドからケマまでドライヴしての歸り、途中の小驛に日本の大工さんが三人ほど居つた。椰子の樹の下で南洋の話をしてゐた。時に岡山縣出身の一人の大工さんが蝙蝠の若竹の筒燒きを御馳走して吳れた。

蝙蝠といつても鳥ほどの大きさだ。眞ツ晝間は眼がよく見えず、茂つた籔の中なぞにブラ下つてゐる。それを長い竿で叩き落すのである。鳩ほどに肉はないが、それでも小雞ぐらゐはあるといふ。

その蝙蝠の肉を太い籔の若竹に詰め、唐辛子などを入れ、それに鹽を少し、砂糖分は若竹から出させる趣向、とにかく相當に調味した若竹を火の中に入れて燒くのである。生の若竹が適當に焦げた頃合が料理の出來る頃合(南洋人はこの若竹に米を詰めたのを行厨にする)南洋のライスカレー(ライスターフル)と同じく辛いことは辛いが、決して味くはない。バンコックの蚊の眼睛の料理、孔雀の舌の料理、燕魚の鰭などの話もあるが食べたことはない。蝙蝠の蒸燒きを喰つて椰子の實の酒を飲む。まづ南洋氣分といふものの(椰子酒といつてもロシア人なぞの夏の飲料にするパンのくずで造つたクワスぐらゐのものでビールほどのものではないが)

蛇は蝙蝠よりは美味しい。蛇を喫ふには時節と時間と同じに、といふものがあるらしい。早い話が、菊科の花が咲く頃は危險だといふことになつてゐる。

廣東は沙面の對岸、河南に孔江殿といふ名家があつて日本人に蛇の料理を喰はすといふことである。「龍虎相搏」などいふ料理は蛇と猫と甘く調味したものであるが蛇料理といふ本物の毒蛇ではないらしい。だから市中では春夏秋多「龍虎相搏」を喰ふことが出來やうが、本物の「蛇料理」は十二月から一月までぐらゐの短期間に過ぎぬのである。

本物の蛇料理は、廣東では金線蛇などいふ四種類の毒蛇を一組として使ふものだ。

四種類一組の毒蛇を雞肉のスープで濃いスープにして、それをアルコールランプの上に置き、菊の花などを入れ、蛇酒を飲み〳〵舌鼓を打つのである。蛇酒といつても尤もペパミントと同じやうなもの、尤もペパミントは蛇でないと、あの透き徹つた紺青の色澤は出ぬといふことだ。

廣東の十二月、一月といへば日本の春、それでも山東の牡丹や水仙を飾り、その前で蛇酒を飲みつゝ、菊の花などを入れた蛇のスープを啜るのだ。

尤も毒蛇の料理といつても、スープにした以上、蛇らしい跟跡は全く殘らず、たゞ細い小さい白い肉の間に黑い蛇の皮らしいものがあるだけ、大部分は雞肉のスープで味を付ける。

その時も日本人が十六人、それに主人側といふので二十人ほどの筵席であつたが、四疋づゝ十一組すなはち四十四疋の毒蛇を調理、雞は六十羽を使用し、ボーイから數人、朝から蛇の小骨を拔くのに多忙であつたとのこと(一記者)

不景氣打開のため敢て小策はやらぬ
節約豫算は本月中に出來上る
濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉十二日發電通】濱口首相は十二日午後三時半自動車にて夫人令嬢同伴鎌倉の別莊に赴き靜養二泊の上十四日歸京の豫定であるが別邸にて左の如く語つた

過日來有力實業家と會見財界問題につき意見を交換してゐるが今後も順次續けるつもりである財界實情については自分の見てゐる處と餘り相違せぬが又違つた意見もあるこれに依つて如何なる

財界對策 を樹つべきかは未だ考へてゐない、大體の方針は十日の與黨閣僚懇談會で自分の述べた通りであつてこの際つまらぬ小策を遣らぬ積りである海軍の支拂延期については傳へらるゝ處と內容が違ふ事業と共に支拂ひを延期する事は出來るが事業を遂行してその支拂を延期する事はあり得ない來年度豫算編成は容易な事でないと考へてゐるが編成方針の決定は遲れても各省ともその積りで準備してゐるから大した支障は生じないであらう新規事業は此の際望みはないと思ふ公債政策については今から彼是いへぬが政府は整理緊縮方針は變更せぬ積りである本年度

節約豫算 は本月一杯で出來上るが豫算說明會は開かぬロンドン條約案に對する政府の考へは從來自分の語つた處と變更なく出來る丈け速かに諮詢奏請手續を執る積りでこれが爲めには總ての事情の圓滿解決を望んでゐる然し形勢の變化に依りこれに應ずる方策に出ねばならぬ事になるかも知れぬ、岡田參議官は十四日歸京するので軍部の方の折衝は進むであらうが、これは政府としては何等關係すべき事ではない理論は別として海軍の準備は絕對的必須條件ではないが必要な準備行爲として圓滿解決を望んでゐるものである倉富樞府議長とは諮詢手續を執つた後會見したい

兒玉總監 の辭任は嘗て聞かぬ事である、本日拓相と會つたのもこの事ではない政務總監の更迭が最近に實現するといふやうな豫感も持つてゐない

條約問題は樂觀
反對あらば堂々鬪ふ
幣原外相の車中談

【興津十二日發電通】幣原外相は西園寺公のロンドン條約諮詢につき諒解を求むべく十二日午後三時東京驛發午後七時三十九分興津驛着水口屋に投宿したが車中左の如く語つた

海軍條約について十分老公の諒解を求むる筈である、條約樞府諮詢奏請の時日は未だ決定して居らぬ、外務省の準備は殆んど完了し余としては一日も早く手續を執る事を望んでゐる軍部內のことは余は知らぬが理論上から見て樞府諮詢と參議官會議や元帥會議とは無關係であると思ふ、然し無理をして諮詢を奏請することもないであらうが當てもなく一月も二月も無爲に待つことは困る、余は條約諮詢については樂觀してゐる、若し條約を毀すやうな運動があれば責任上堂々と鬪ふ許りでアメリカ上院も批准につき八釜しい樣だが來週中には無事に終りイギリスも日本より一足先に批准を終ると思ふ、日本の批准には英米とも樂觀してゐる

尙同車には井上藏相が御殿場まで水野前文相が大磯まで同車した

兒玉政務總監辭意を表明
後任には後藤文夫氏

【東京十三日發電】兒玉朝鮮政務總監は齋藤總督まで辭意を表明したので總督上京後正式發令さるべく後任は後藤文夫氏と見られてゐる(寫眞は兒玉氏)

兒玉總監否認

【東京十三日發電通】辭職說を傳へられた兒玉朝鮮政務總監は當地昵近者に向け右は全く事實無根なる旨の電報を寄せた

稅金の納附延期と各種料金の引下
無產黨全國的に運動

【東京十三日發電通】社民黨は現下の不況に鑑み、以前の通貨膨脹時代に不自然に重課された儘である租稅、地代、金利、家賃、電燈等の過重負擔から脫却して民衆の生活を防衞すべく十二日午後中央執行委員會を開いた結果租稅公課の納稅延期請願運動を中心に非常特別富豪稅設定要求地代家賃運賃の値下げ電燈料瓦斯料金値下げ等具體的方針を決定民衆生活費輕減鬪爭を全國的に起す事に決定し近く他の無產黨と共に共同して大運動を展開する事となつた

金の流入が三百萬圓に上る
七月に入つてから

【東京十三日發電通】金解禁後の滔々たる金の流出は先月を以つて停止し本月に入つては全く流出しない許りか却つて日々二十萬圓乃至五十萬圓の少額ながら金の流入を見、七月に入つての流入高は既に三百萬圓前後に達せる模樣である、この流入經過は殆ど全部支那內地より北支那滿洲或は朝鮮を經て輸入されるもので最近輸入は多く支那人より我國在住の支那人へ向け送られて居り國民政府の金輸出禁止令の發布後より始まつたものであるといふ、その性質は未だ判明しないが對支貿易品の決濟が主たるもので一、二には銀塊相場の關係より我國において金を保有する方が有利である事も一因であるらしい、上半期中の金の流入二百餘萬元は全部この支那からの輸入でその中には銀行の取寄せたものも含まれてゐるが最近は金輸出禁止のため全部個人的の輸入に限られてゐると

米國務次官條約辯護

【シカゴ十一日發電通】ロンドン會議中特に大使として日本に派遣されてゐた國務次官キャッスル氏は本日當地ユニオンリーグ、クラブで演說し極力條約を辯護し、日本が米國に對し比較的大きな比率を要求した事は決して日本の不信ではない日本のフイリッピン占領の言「戰爭は結局日本を破綻せしむ」を引例し條約が三國に最も公平な取決めをしたとの確信を述べた

擴大會議は下旬
朱鶴翔氏記者に言明

は濟南に遣られて來た

【北平特電十二日發】北方政府問題につき本日、記者は外交部に朱鶴翔氏を訪ひ左の如き明言を得た 政府は臨時的のものでなく正式の政府を樹立すべく、先づ各派の擴大會議を開くことに決定した、なほ新政府の外交方針は日本との親善を中心とし內政は國民の生活を主眼とする、なほ擴大會議は本月下旬開くことに決定

ヅ勞農總領事轉任說否認

【奉天特電十三日發】勞農奉天總領事ヅナメンスキー氏の歸國及び轉任說が傳へられてゐるが同總領事館ではこれを打消しヅナメンスキー氏が去る七日出發滿洲里に赴いたのは家族出迎への爲めであつて十五日晚には省政府主席臧式毅氏以下省政府委員全部及び瀋陽市長等多數を招待して居りそれまでには歸奉する豫定であると稱してゐる

韓軍陣地の一部奪回

【濟南十二日發電通】韓復渠は臨淄で督戰の結果山西軍陣地の一部を奪回し山西軍の負傷兵二百餘名

瀋法間支線敷設
問題の奉天榊原農場
支那側が買收交涉

【奉天特電十三日發】滿鐵の事業吸收策として支那側當局は各地に鐵道敷設の計劃を進めてゐるが今回東北交通委員會では瀋法支線百六十支里の鐵道を敷設すべく躍起となつて計劃してゐる即ち該線の經費は現大洋の三百萬元で官商合辦となしその中百萬元は遼寧省庫に、二百萬元は東北各鐵路局に負擔せしめ奉天、法庫門間に敷設せんとするものである聞く處によれば目下未解決のまゝとなつてゐる榊原農場橫斷問題は支那側で之が買收に奔走中であるといふがその價格問題で容易に決定を見ず支那側當局は同地をさけ迂廻してまでも敷設せんとする意嚮であると

學士院會員補缺

【東京十三日發電通】十二日帝國學士院定例總會にて會員補缺選擧の結果第二部に京都帝大經濟學部教授神戸正雄氏が會員として當選した

櫻內理事長等けさ歸連

十三日午前八時半入港の濟通丸で天津、北平視察中の五品理事長櫻內辰郎代議士、貴族院議員高橋隆一氏、齋藤喜八郎代議士は打連れて元氣よく歸連したが、櫻內氏は左の如く語る

たゞ遊びに行つただけです、別に面白いお土產話しはありませんが十一日に天津領事のインビイテーションに行きましたがその時の話によれば最近の時局も新聞に傳へられてゐる通りで目新らしいニュースも耳にしませんでした十五日に關東長官を三人で訪問し十六日から奧地に行き高橋、齋藤兩君は陸路歸京し私はこちらへ引き返す豫定です

人事

▲櫻內辰郎氏(五品理事長)十三日入港の濟通丸にて天津より歸連
▲高橋隆一氏(貴族院議員)同上
▲齋藤喜八郎氏(代議士)同上

天氣豫報

十四日(南西の風)晴れ一時曇り

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二八・六	二九・八
旅順	二七・四	三一・〇
營口	二八・五	三〇・六
奉天	二九・〇	二九・二
長春	二六・六	三〇・七

滿潮 午前零時五分 午後零時卅分
干潮 午前五時四十五分 午後七時十分

河童たちの跳躍——けふの星ヶ浦

お役人さん受難

關東廳でも愈よ旅費約一割節約

この十五日から實施する

關東廳では今般政府の行政合理化に依る實行豫算編成の爲め土木費の約三割減を筆頭に諸經費を節減、總額において約百萬圓方の節約を斷行せんと目下節約豫算編成中であつたが、右の節約は既に本年度豫算編成當時において出來得る限りの節減を斷つた後であるので、一部物價下落せるもの〻外は事業を縮小せぬ限りさしたる縮小も望まれず、こゝにおいて同廳では遂に最後の一方法として殘されたる旅費の節減にまで手をつけねばならぬこと〻なり、這般來財務部首腦部にては旅費年總額國費約七十萬圓地方費三十萬圓計百萬圓の約一割を節減する方針で講究の結果十三日下記の通り約十萬圓を節減することに決定直に本月十五日より

改正旅費 規程を實施すること〻なつた、即ち改正規程によれば從來に比し普通旅費一割五分減日額旅費一割減、月額旅費五分減となり高等官は一日約三圓判任官は同二圓減ぜらる〻こと〻なり茲許いよ〳〵官吏の受難時代が現出さる〻こと〻なつた

高松宮兩殿下 御退英遊ばさる

妃殿下は淡黄褐色の御洋裝で 日英官民の奉送裡に

……々パリーに向け御退英遊ばされる高……ナルより自動車にてヴイクトリア……ホームに進ませられ午前十……奉送裡に列車ゴールデン……御なごりを御惜ま……パーに御向はせ……ことのほか……御渡英……あら

急停車不能時の 轢殺しは罪無し

新判例に機關士喜ぶ

【東京十三日發電通】鐵道事故に際し列車運轉に從事する機關士の責任については近來司法鐵道兩省間に種々議論あり鐵道事故裁判所設置論が行はれてゐるが、昨年末千葉縣稻毛姉ケ崎間の鐵橋にて機關手前田熊太郎が一人の男を轢殺した事件は一審で業務上の過失罪として罰金五十圓を求刑されたが事實は被害者の過失で運轉上急停車不可能なりし事が鐵道省石川事務官も證言したので、この程六月三十日千葉地方裁判所平山裁判長はこれに無罪を宣言した、これは大審院の判例を覆へしたもので、從來は「機關士は踏み切にて何時にても停止し得る準備行すべきもの」との見解で大審院はドシ〳〵懲罰罰金を科して來たゝめ、全國三萬の機關士は常に不安に襲はれ自衛上一月一人十錢宛を積立て辯護費用に備へてゐる有樣なので、この新判例は目下係爭中の二、三百件の同樣事件に對しても今後の機關士の心理にも極めて明るい光明を投げかけたものとされてゐる

世界的話題となつた 三百萬圓の退職金

鐘紡爭議を日本勞資代表が論爭 國際勞働會議總會で

【東京特電十三日發】去る六月十日から廿八日までジュネーブで開かれた國際勞働會議總會の席上で日本勞働代表鈴木文治氏對政府代表吉坂資本家代表栗本兩氏との間に行はれた鐘紡爭議を中心とする猛烈な論爭に關する詳報が十二日國際勞働局東京支局に到着した、それによると論戰は參加國五十一國代表者三百六十名列席の上六月十九日、二十日、二十一日の三日間に亘つて行はれ、その間武藤山治氏の三百萬圓

退職金 問題も暴露され異常な興味を惹いた、論爭の火蓋は十九日鈴木勞働代表によつて開かれ

前社長である武藤氏に三百萬圓の退職金を拂つた會社が女工の賃銀を二割三分五厘も一度に引下げるとは家族主義の美名の下に勞働者を欺瞞するものであると大見得を切つた、翌二十日には資本家代表栗本氏が鈴木代表の暴露戰術に對し

鐘紡の賃銀引下げは各國が關税を引上げた結果であつて從業員も決して

不滿を 持つてゐない、その證據には三十五箇所の工場中爭議を行つたのは僅かに五工場で家族主義は決して欺瞞的のものでなく從業員は協調精神を十分もつてゐる、要するに鈴木代表の御説は誤解に基くものである

と武藤氏擁護演説を一席辯じ、遂に吉坂政府代表と鈴木代表の一騎打となつて最後の幕を閉ぢたが、英國勞働代表プールトンも「三百萬圓の退職金は莫大なものだ」と

驚いて 鈴木代表の意見に贊成したものである、かくて武藤氏の三百萬圓問題も鈴木代表によつて一躍世界的に紹介された譯で政府、資本家兩代表も武藤氏の辯護には相當惱まされ苦戰のやうであつたといはれてゐる

失業より苦しい 映畫館のお茶子

毎日苦勞した上に手出し 十數年來の夏枯れ

財界一般の不況に影響され且つ海水浴と野球シーズンに入つた爲め大連映畫界は全く不況に陷りこゝ十數年來の夏枯を示し映畫常設館六館のうち晝夜の揚高を通算して日々百圓以上の收入ある館は一、二に止まりその他の館は晝夜興行にて五十圓內外の大減收にて家賃と電氣料すら揚らぬといふ不況で全く青息吐息の有樣である、從つて映畫館に働く女案內人も亦、蒲團代五錢の一割とお客のチップが收入であるが、昨今の不景氣では蒲團は買れずチップを出す客はなく驂を結び電車で通つては毎日手出しをするといふ失業以上の慘憺たるものがある、一方お客の傾向を見るにこれまた不景氣風のため番組よりも入場料の安いところを狙ひ、却て中途半端な番組と入場料よりも二十錢乃至十錢興行をなすか、思ひ切つた積極興行に出で優秀番組によるかの外なくフキルム代の關係その他の事情により再上映の安直興行に出でんとする傾向が濃厚で、一方演藝方面よりは恒例の夏芝居に挾擊され映畫界は全く苦惱の頂點に喘いでゐる

首相官邸の ナンセンス

エロ、イツト グロとは何 幣原さんが説明

◆…【東京特電十二日發】いかに濱口さんの顏を眺めてゐるからとて閣僚の誰も彼もが、いつも鯱コ張つて左樣、然らばで御座るの一點張り、堅苦しい文句ばかり並べてゐる譯には行くまい、況んやナンセンスばやりの世の中だ、あのいかめしい首相官邸にも一ッや二ッのナンセンスはある筈である

◆…十一日午後、總理大臣官邸である、條約問題とか國産獎勵、産業合理化と七むづかしい閣議が終り、會議室から食堂へ移つて閣僚諸卿いづれもホッと一ト息くつろいだ暑くるしい折柄だ、こんな場合、巧に話題を提供して座を賑はすのはいふまでもなく外交畑の幣原さんのお役目だ

◆…おい江木君、君は財部君と縣視するため便所の汲取口やおしめの下を潜つたさうだねとやつたので流石の江木鐵相も、たゞニヤ〳〵と歎笑苦笑

◆…それを傍から引取った渡邊法相「それが本當の醜態といふのさ」は皺いく

◆…幣原さん今度は話題を變へて「諸君に是非知つておいて戴きたいのですがエロ、イツト、グロ百パーセント、それからナンセンスなどの如きを御存じか」と大眞面目に切り出す

◆…濱口さん以下言論では勿論一騎當千の强者揃ひだが、何れも首をひねつて「ハテナ、何處やらで聞いたやうなテクニックだ」と思つたが、ウツカリ間違つて恥をかいてもとばかり、何れも只顏を見合はせるばかり

◆…そこでしてやつたりと幣原さん膝乘り出して「ロンドン條約のテクニックでも何でもないんだ」と前提して「尖端的用語について一一念入りな説明をしたものだ、初めて知る新用語に閣僚の諸卿設明だけでも承知せず近い內銀座街頭に乘出してイットやエロやグロなどを滿喫して見やうといふことになつたさうだが、さてその實效が果して出來るものやら、ロンドン條約御諮詢案や失業問題對策以上の大問題だ(寫眞は幣原外相)

笠岡福紡工場で 片番操業を發表

近く四十名を整理の模樣に 從業員は戰々兢々

【岡山十二日發電通】福島紡笠岡工場は十一日突如寄宿工八十名に對し暑中休暇を申し渡すと共に、十六日より晝夜交代を廢して片番とする旨發表したが、同工場は一兩日中に四十名の男女工を整理する模樣で從業員は戰々兢々としてゐる

在米同胞の 惠みの金六千弗

之で內地の貧困を救ひたい 歸朝した山室中將談

【横濱電話十二日發】渡米中なりし救世軍山室中將は十二日午後一時、秩父丸にて横濱に歸朝したが中將は語る

私は四月末ニューヨークで開かれた全米救世軍組織五十周年記念大會に出席し、次いで全米に散在する日本人部落を一萬三千マイルに亘つて訪問したが、其處で特に愉快に感じ、また心强く思つたのは

在米邦人 中にいろ〳〵の意味においての中心人物が澤山出來て、在留民を指導して居ることである、例へばネバタ州のノース・シールドの農園には加納といふ子爵の農學士が居て、自分で農園を經營する傍ら、在留邦人に對し農業に關していろ〳〵指導する外、文化的精神的教養にまで力を竭し、各日本人家庭にはみな百科辭典を備へるといふ程度に日本人の生活狀態が進んでゐる、アメリカでも隨分たくさんの失業者があつて政府でも救濟に努めてゐる、アメリカの失業者は日本のやうに今日の食に困るといふ程で無い樣である、それでも救世軍は

失業救濟 に非常な力を竭し、一般家庭も救世軍を通じてこの爲めに寄附をして居る、今回の訪米で各處から聚まつた金六千弗を持つて歸つたから吾々も早速この金で貧窮者の救助を圖りたい

簀卷にした 死體漂着

香爐礁海岸に

十二日午後零時ごろ沙河口管內香爐礁第三區百十六番地先き海岸に麻繩にて布團の中に簀卷にした廿七、八歳の支那人死體が漂着したのを通行人が發見沙河口署に屆出でたが、檢視の結果外傷はなきも他殺ではないかと目下身元調査中

軍需品倉庫爆發 死者三百名

【ベルリン十一日發電通】コンスタンチノープル、スタムボール來電によればトルコ、イズミット軍港內の軍需品倉庫に爆發起り死者二三百名に上る見込である

御眞影奉送 自動車衝突

きのふ龍王塘で

十二日入港の香港丸で新たに大連女子商業學校に下賜された御眞影を關東廳に奉送さるべく水上署內野巡査御警衛申し上げ關東廳差廻しの百二十號自動車で旅順へ向つたが午後二時頃龍王塘附近にて旅順方面より疾走して來た關東廳醫院長渡邊醫學博士及び家族同伴の自動車と接觸幸ひに百二十號自動車は異狀なかつたが渡邊夫人は腰部に打撲傷を負つた、接觸と同時渡邊醫博士は自動車より下車百二十號運轉手に大いに食つてかゝつたが內野巡査が恭々しく御眞影御奉送中なることを傳へたところ同氏も最敬禮を行ひ引き下がつた由

橋梁三十流失す

【福井十二日發電通】九頭龍川大增水のため同川下流に架せられてゐる福井縣最大橋全長五百間の新保橋は十一日午後七時遂に流失したこのため新保、三國町との交通は全く杜絶した、その他全縣下の橋梁流失三十橋、本日迄の死亡者七名である

東電百卅名休職

【東京十二日發電通】東京電燈は過般重役改選の結果組織改革の方針を決定したが今回營業本位に職制を改正し社員總數二千三百餘名中百卅二名を一ヶ年間休職とするに決した

公衆電話を破壞 通話料金を盜む

けふから市內各派出所間に 非常電鈴をつける

最近市內山手町から譚家屯方面にある公衆電話を破壞して在中の通話料金を竊取する者が頻々として現はれ連日の如く被害があるので電話局ではこれが豫防策として十三日早朝より一齊に市內各公衆電話から非常電鈴を最寄り派出所に取り着け盜難豫防に備へること〻なつた

海へ・海へ

好天氣に賑つたけふの日曜

珍しくもしばらくはいやな霧の天氣がつゞいたが、二三日來すつかり天氣になつた青空はけふの日曜にも朝から燒けつくやうな陽光を投げかけて大連の河童連を喜ばせた、滿電では星ヶ浦老虎灘方面に臨時電車を增發して海水浴客の輸送に大童である、家族總出の賑やかなお客さんで來る電車も〳〵大入滿員、眞黑なお坊ちやん、綺麗な海水衣裳のお孃さん、裾をからげたお母さん等でどの海水浴場も大賑ぎ、賣店の[illegible]父さんの大ニコ〳〵顏が特に[illegible]く、滿電でも「これまででも一番人出の多い日曜です」と喜んでゐる、けふの暑さを測候所に聞く

今年で一番暑かつたのが六月十九日の卅二度、華氏八九度六でけふの十一時が廿八度六(華氏八十度餘)です、梅雨はまだあけ切りません、これから益々暑くなつて本月末と來月初旬に一番暑い時が來ます

日伊デ盃戰 第一日經過

【東京特電十二日發】十一日發ゼノア電報に依れば日・伊デビス・カツプ試合經過は左の如くである

△デステファニ對太田 最初太田斷然攻勢に出でデステファニは太田のフオアハンド・ドライブを返すのみであつたが、太田はオーヴアー・ドライブ二アウトを繰り返したに對しデステファニは確實に返して最初の二セットを奪ふ▲第三セットに至り太田やうやくコントロールを得素晴らしい攻擊振りを見せて敵をコート隅に追ひ込み、デステファニ漸く疲勞の色を見せた▲第四セット・デステファニのドライグ粘り强く確實となり、互に打合ひながら、オールを續け接戰となる、太田のフオアハンドドライブもの凄いものあつがエラー多く、遂にデステファニに捷を讓つた

△原田對デモルプルゴ 原田は未だ伊太利では見たことも無いやうた目覺ましいプレーを見せ、全くデモルプゴに平生の試合振りをさせず殊に彼の得意のバツクコートのゲームを完全に封じストレートで勝つ、デモルプルゴが伊太利で試合に敗れたのはコレが最初である

妻タク儀兼て病氣の處藥石効なく十二日午三時半逝去致し候間此段辱知諸氏へ謹告仕り候
追て告別式は十四日午後四時二葉町は安會本部に於て執行仕り候
夫 鈴木丈太郎
親族總代 片岡金太郎 宗正要
友人總代 犬養毅 田中吉 桑島豐重 島津禮作 山崎倉吉

殊にそれ

ひまするはか

しに妻女と固く契

したれば萬難を排

を無事に歸さねばなりま

身を以て彼を擁護いたす所

う云はれては相樂も強つて退

わけにはゆかない。

そこで宮川、水原の兩士、加ふ

三藏つまりは些々たる樂團的

ではあつたが血卍組一黨が一

切任された形。

譚 (171)

松[illegible]雄 作　[illegible]太郎 畫

「こ[illegible]静かにせぬか」

「ホイ、鐵誠庵ぢやァなかつたっけ。どうも屋敷なんてこれだから窮屈でやりきれねえ」

「あ、これ!」

亮之助はハラ〳〵した。

廊下を通りすぎる浪士の群は亮之助や左近と挨拶し乍ら、三藏と猿たをこもぐ〳〵不審相に眺めて、ニヤ〳〵してゐる。

いよ〳〵夜の幕はおりた。

充分な腹拵へ、身拵へ、すまして立上つた三人。

この時相樂總三、心持蒼ざめた顏して急ぎあしに入つて來た。

「宮川、水原御兩所、大事決行の上は寸時も速かに歸邸願たい」

「は、」

「酒井左衛門尉が市所砲撃沙汰よりして事態いよ〳〵惡化、今宵にも庄内松山の藩兵等當屋敷へ押よせんも計られぬ形勢にある」

左近の眉はピリリとふるえた。

「ほう、願つてもない、よき死場所が得られまするな」

相樂もそんな氣がされたからである。

と、かれこれ午刻を過ぎやうとする頃、近侍の者が慌たゞしくも書院へ走つて來た。

「宮川左近殿、一名隨伴參邸されました」

「おお――」

相樂はホッとしたらしく笑つた

「亮之助殿、逢つて下されい、疲れても居らう」

「はツ!」

控への間へくると左近は手を伸ばした。

「や、無事で何より」

「お互にな、併し怪我をしたな」

「おゝ、それがしは脚部に、三藏めは火傷ぢや」

「痛むか?」

「なに大したことはない……して今夜の手筈は?」

「相樂先生に伺ふがよい、三藏いまの間に少し休息するがよいぞ」

「へい!」

三藏を殘して左近亮之助の兩名は奥の書院へ戻る。

密議のうちに陽は傾きかけた。

日足短く暮れやすい候。

水戸に育つた亮之助は水藏の[illegible]

[illegible]宵は先陣の役目、陸の忍術[illegible]

これをきかされると三藏、充分眠つたあとの快さから場處柄もわきまへず手を拍つて喜んだ。

「しめたッ、これで昨夜の腹いせが出來るてえもんだ」

大連棋院臨時稽古碁戰

四段 都筑米子女史

五子 鳴尾直人氏

—【7】—

河部五郎の初日狂言替る

『妙法院勘八』と『國定忠次』に 本紙の艶色生膽秘譚

凝るゝ熱と意氣を持つた映畫界の人氣者、時代劇に劍劇に俠客劇に往くところ可ならざるは無く大日活京都撮影所の人氣を背負つて立ち久しく光彩を放つてゐた河部五郎が突如!眞に突如疾風迅雷的行動によつて日活脱退を聲明し實行したのは昨年秋酣の頃であつた天下のファンは一齊に驚いて其後の成行に多大の注意と期待を拂つたが獨立した彼は其旗揚擧行を東京公園劇場に開演し果然頂天に達する其人氣に益々彼の面目躍如たるものがあつたが引續き其旺なる奮闘と力とを漲らせて目ざましき奮闘振りも六大都市はじめ内地各地に大好評を博してゐた彼が近く再びスタジオに返り咲く噂ある矢先既報の如く其の一黨を率ゐて渡滿することは蓋し猛夏の大連劇界に投げる一大清涼劑としてファンの渴仰措く能はざる所であらう、一座は既報の如く來る十八日入港はるびん丸にて來連、即日初日開演の筈なるがスクリーンを通じてのみ見られてゐた彼獨自の大猛闘!飛鳥の早業その快劍縱横振りは今や目睫の間に迫つてゐる、初見參の彼が觀客の期待に背かざらん事を期して選拔し上演せんとする定評ある殺陣をとり入れた極め付の名狂言は御目見得狂言として第一村に瀧六氏作の映畫で知られた「妙法院勘八」九場と第二行友李風氏作の極め付「國定忠次」四場であるが此外に目下本紙に連載中の伊藤松雄氏原作の「艶色生膽秘譚」を特に本社觀劇會のため葉村俊二氏によりて全五場に面白く脚色して上場することに決したことは彼の第一回滿洲開演地たる大連興行をして一層意義あらしめることであらう

帝キネは寶館上映

近く經過發表

帝キネ問題は昨報の如く愈々大詰となり帝キネ映畫が寶館に上映されることに確定したもの如く演藝館にては帝キネ解約に對する準備一切を整へた模樣で今明日中にその經過顚末を發表すべく、一方寶館にても新館主吉田氏より帝キネ契約の聲明書を近く發表する筈である、尚木村帝キネ事務員は再び上阪し帝キネ本社と打合せするものと觀られてゐる

帝キネのいさこさで演藝館の木村事務員と井上技師は完全に吉田派と小田派に分れて睨み合ふ▲そこへ軍師小笠原ライオンが歸つて來て昨夜から活躍を開始▲一方寶館の從業員は結束して新經營者側に要求を提出したが、暴風雨警報とも傳へられてゐる▲大日活の「唐人お吉」のプリントは内務省の檢閲通りとかで僅か一場面のカットですみ▲殊に四卷目の如きはノーカットでこの暑いのに飛んだエロ映畫がお客を喜ばせてゐる▲各館の解説者靈間題行はトリをとるよりも野球の方が大事で▲館主と同樣矢張りこれも惱ましきものは野球らしい

大連 JQAK

七月十四日午後七時卅分

▲ラヂオ體操

▲露語講座(第四十二課)大連語學校グロースマン

▲講話(盂蘭盆と盆踊)大連彌生高等女學校南部先生

▲レコード一、五つの交響的斷章マリピエロ編曲二、歌劇ミニヨン序樂トーマ作三、パッサカリアヘンデル作

▲義太夫(太功記十段目尼ケ崎の段)太夫鄉坤、三味線鶴澤叶治郎

▲支那唱(王二姐思夫)唱郭巧仙、師付楊樹亭

▲料理獻立

▲天氣豫報

實演される「艶色生膽秘譚」

大衆味と新演出の舞臺

永賀見太郎

河部五郎の實演團が來演する。演物は「修羅王」や「妙法院勘八」や「修羅八荒」の如きスクリーンに描かれた姿の舞臺再生、そこにある。當然大向ふの喝采が約束されてある。然しいづれも大連にて上映され映畫ファンを熱狂せしめた喝采の殘滓でもあるので私は初めて舞臺に見る興味を河部五郎の一座に持ちたかつた。そこで——

本紙にシナリオ・ライターとしても知られてゐる伊藤松雄氏の新講談「艶色生膽秘譚」が連載された當初から映畫らしいテンポを以て轉換してゆくサスペンスに富む場面の變化を見てこれをクランクしたならば曩に本紙に連載された「金剛呪門」の映畫化よりも更に一層大衆的興味があらうと期待してゐた、現在尙私はこの希望を捨ずにゐるが——大連のスクリーンに映出される日があるかも知れない。

ところへ恰も河部五郎の來演が決定し東京から飯田支配人が來連された、私は未知の河部五郎の所謂實演なるものに對して飯田支配人の話から映畫式演出によつて場面轉換に快いスピードを感じたしまた遠山滿一黨の「丹下左膳」の舞臺を見て、その演出せんと意圖するところのテンポを充分に窺ひ知つたのでシナリオとして興味を感じた「艶色生膽秘譚」を舞臺のテンポを演出の生命とし、また主眼とするキネマ俳優の實演によつて上演すれば必ず大衆的興味を盛り得ると信じた

こんな氣持で私は「艶色生膽秘譚」の上演を飯田支配人に圖つたところ快諾を得たので直ちに準備に着手したのであつた「艶色生膽秘譚」は當時約百四十回ほど連載されてゐたので、これが本紙切拔きを飯田支配人に托すると共に、その後の梗概及び原作者との交渉は東京支社を通じて圓滿に運び、一座の演物「旅人權三」の原作者であり、多分座附作者であらうと想像される葉村俊二氏の手によつて脚色され全五場の狂言となつて劇化され、既に内地にて試演し成功したとの報告に接してゐる。

果してどんなものが出來上つたかは上演の日が待望されるが期待するところは大衆讀み物としての興味を繋ぐ物語の面白味と共に全五場に盛られた所謂實演なるもの〻獨自な新演出による快いテンポが生み出す爽快味であらう。

蒼白きイデオロ

芦田敏

滿洲に於ける文藝運動に於いて結城禮一郎氏の說と大内隆雄氏の說が、妙に僕の心を引いた。結城氏が本紙に發表した。滿洲と文藝運動の中に述べてゐる如く、明日への文藝運動は悲觀すべきものではない。

植民地のインテリ達に就いては大内氏と同様な觀察を僕もくだしてゐるが、先づ無線の衆として期……ない。然し植民地のイン……貴族（そんな氣のきい……成だが）達の一つグ……目標として、結……餘地があり得……も蒼白き……、彼……づけ……

明日と云ふ辛抱さの態度であらねばならぬであらう。

滿洲と云ふ植民地。此の荒地があらゆる科學的方法を以つてしても、その成果を得る望みがないとしても、これを抛棄してよいものであらうか。荒地に住して、食物が必要であれば、いかなる草木をも育て食料とするであらうように此の荒地に等しい植民地もそれと同一であつて、明日に生くる爲めには、此れを抛棄することは出來ないはずである。彼かる態度に於て、明日の文藝運動を行ふ可きであつて、失望と苦難の前に旗を伏すは、それは蒼白きインテリである。

悲觀的な大内氏と反對に、結城氏は樂觀的である。然もそれは餘りに公式的であり、朗か過ぎ、カフエーでマルクスボーイ達の會話の様でもある。

氏は云ふ——集中主義的傾向を取りつゝある各重要會社の政策、利それによつた過剩人員の整理、撤回收の叫び此れらの事項に反して邦人の人口密度は漸々として增加して行くではないか——と勿論である。であるが故に氏は——悲觀どころか、最も大きな幸福のためにかがやかしい役割を背負つた文藝的方面に於ける、オルガナイザーとしての自分を見る事が出來るだろう——と最も大きな幸福のためにかがやかしく、然もオルガナイザーとなるべき結城氏は、亦何んと幸福であらうことか。

結城氏は恰度大正八、九年頃社會運動の盛んな當時の連中と同様な態度を昭和五年に見せてくれる勇氣に感服する他はない。恰度あの頃僕はそうした餘りに公式的なそして認識不足な運動にあきたらず、もつと現實に眼を開けと警告したが遂に容れられなかつたが、大正十二年のあの震災で始めて目が覺めたのであつた。

結城氏がヴオルガナイザーを自任なさるも、それは自由であるがそれは蒼白きインテリであることを發表することである、明日の社會をめがける者には、持つてゐないところの、プチブル、イデオロである。

氏が——根本的な此の三つの課題をしつかり認識して——と云はれたる、その三つの課題なるものからは、氏の云ふ最も大きな幸福もオルガナイザーも持ち來たらさないであらう。滿洲はそうして課題でなしに、もつと〱大きな重大問題がある。氏はそれを見逃がしてをられることこそ、もつと滿洲を確かり認識して欲しい。

氏はアメリカ文學を引いて、大内氏に當つてゐるが、そこにも氏の認識不足さがうかゞはれてゐる認識不足は大内氏から返上して然るべき程である。大内氏が悲觀的言辭を述べられたとて、現實には結城氏より確實性が多い様に見受けられる。

植民地の滿洲、悲觀であるとか樂觀すべきだと云ふ事は、蒼白きイデオロの所有者のみが云ふことである。悲觀の材料ばかりが樂觀もされてゐるが、明日の希望もそれだけ多く持たせられる。悲觀とか樂觀ではなしに、必然の歷史的使命を使命として、あくまで躍進するのみであつて、何處に於ても旗を伏せもしなければ、亦封建時代の遺物であるところの英雄主義やオルガナイザーも要みないであらう。

見た顔『唐人お吉』

——十一谷義三郎のこと——

伊藤船夫

「唐人お吉」を書いた十一谷義三郎——僕の記憶に若し誤りがなかつたなら、例の「文藝春秋」の旗下にあつた横光、片岡、中河、等々といつた連中が分裂して「文學時代」（?）といふ別な城を築いた事があつた。

當時、多分其の雜誌にだつたらうと記憶するのだが、十一谷義三郎が「青草」とか何んとかいふ短篇を發表した事があつた。——驪馬豈青草あるに泣かんや……そんな聖書が何んかの文句を附して、何んでも兄弟物であつたように思ふ。實に感心したものである。

その時分から僕は此の人が好きであつた。書く物が總て正面を切つて、ひた向きな氣持が鋭い程感じられる——そんな筆の跡がある。

十一谷氏が告白する所によると——「唐人お吉」を書くべく調べにかゝつたのは昭和三年の一月で作とした物を發表した最初のものは同年の十一月と十二月の中央公論であつた相である。次ぎは翌四年の六月初めから十月初めにかけて東京朝日新聞の夕刊に「時の敗者」として連載したが——最後に今年の正月から、つい此の間まで書いてゐた。

その意圖は——彼女の一生を裏づける時代の動き——時代の呼吸——個人と社會の問題——個人と時代との交渉——そこを掴んで、嘉永安政から明治中葉にわたる彼女の一生を展開する……といふのであつた相である。

斯う言はれて見ると、僕は確中央公論に發表された第一回めの唐人お吉を讀んで、第二回めは讀まなかつた様な氣がする。

東朝に連載されたのも今年の一月から其の前の分は讀んでゐない割合に此の人のものは落さず讀んでゐたのであるが、斯う三年越しも轉々されると些か困る。

だから先日大日活で梅村蓉子、山本嘉一により溝口健二が物した處の「唐人お吉」を見せて貰つた時は——見た事のあるような顔で ゐながら思ひ出せない顔を見てゐる——そんな氣持がした。

お吉……といふものゝ存在と當時の時代的動き、その二つが小突き合ふ處に、どうにもならない宿命的な影——それは非道く寂しいものだ……或は、そんな顔は見た事がなくても、見た事のあるように想へる顔かも知れないが……。

滿洲藝術家聯盟

在滿藝術團體の協議體たる滿洲藝術家聯盟は去る十一日、七月の例會を開いた出席者十六名、今後の共同事業に就いて協議した、日下の加盟團體は「燕人街」「戎克」「滿洲新劇場」「連潮社」「曙人」「緑土藝術家聯盟」「大陸文學」「塞外詩社」の八である、次回は滿洲ジャーナリズム批判會を催すと

夏を描く

横澤宏

清風館のこと

老虎灘の半島の鼻先きに「清風館」といふ小料理屋がある。去年の夏、或る人に連れられて二、三度此の家に行つた事があつた。

本當の小料理屋で、鼻先きに物音がするから振返つて見ると、猫がキヨトンとした顔をして突つ立つてゐるといつた具合に——小さな料理屋である。

たゞ、一番半島の鼻先きに突出てゐるので部屋いつぱいに涼風が吹込み、展望がきくといふのが取柄である。

此所で食べさして貰つた魚の鋤燒は推賞する程の物ではなかつたが、鮑だけは、ちよいといゝと思つた。ツボ燒もよろしい。

食物のよし惡しを言ふ程、實は道樂ではないのだが正直な話、甘味いと思つた。

ともかく——海に行つて、いきなり着物を脱ぎ捨て水のなかへ入る——それよりは、こんな家で新鮮な食物を喰ふ方が寧ろ涼趣があつていゝ。

この清風館に、去年はお花さんといふ女が居つた。

僕をまで「旦はん」と呼ぶ、てれた次第だ。

一度こんな事があつた。此の家に僕を連れて行つて吳れた人が——尾籠な話であるが……「おなら」をした。

お花さんは恰度鋤燒の鍋を突ついてゐたが「おなら」の音を聽くと、ふい……と後ろを振返つて

「おいでやす」

ぼつ〻り——眞面目な顔で、そう言つたきり笑はうともせぬ。

それが亦實に自然だ。

僕は開け放たれた縁先きから茫とした海を見返つて失笑した。

海には——落陽を背負つた漁船が靜かに歸つて來る所だつた。

夏になると想ひ出せる——家と人とである。

……マン

……ЫЙ УРОК.

……разгаре. Смотрите, какя масса цветов.

Какая хорошая зелень на полях.

А.—А как красиво извивается эта маленькая речка.

Смотрите, вон там купаются и играют ребятишки. (Ребята).

Б.—Да, и сколь это очень интересно и красиво—и река, и поля, и цветы, и безоблачное голубое небо, яркое солнце, но.........там дальше виды будут еще восхитительнее.

Вы придете прямо-таки в восторг, когда будете проезжать через Хинган.

Там высокие горы, дремучие леса и так-же много цветов.

Но самое интересное там-это, так называемая Хинганская петля и Хинганский тоннель.

第四十二課

Б.—もう春の眞盛りです。なんと花の群御覽なさい。なんといゝ勢力が野にあることでしよう。

А.—まあ—なんと奇麗に此の小さい川がうねつてゐることよ御覽なさい、ずつと向ふに小供等が浴びて遊んでゐます。

Б.—皆さん川や野や花や晴朗な薄青い空や、明るい太陽は誠に面白く奇麗です、然し向ふの遠くの景色はもつともつと面白く恍惚とせしめる。

貴方はヒンガン（山の名稱）通る時は本當に悦ぶでしよう、あそこには高い山蜜林そうして又澤山花が有りますだがそこで一番面白いのはヒンガントンネルとヒンガンの紐穴です。

社説

見本市の成果を收めよ

先般、大連に開かれた第一回の滿洲見本市、まづ成功裡に閉市したといつてよからう。慾を申せば際限ないが、とにかく日本内地の生産工業が如何樣の状況にあるか、その日本の工業を以て、この滿洲に對して如何の程度まで販路を擴張し得るやといふやうなことも大體は見當がついたことと思ふ。

◇

日本内地の生産工業が、如何に長足の進歩をなしつゝあるかは、今さら申すまでもないことであらう。ある點においては、ドイツの商品やイギリスの製品などの特徴を採り、世界の如何なる地方においても競爭するも、決してヒケをとらぬものがドシドシと生産されるのである。精巧の點において、また格安の點において、すこぶる優秀なる成績を示しつゝある。一時支那の手工業、または小工業が勃興し、わが商品の前途に一大脅威たるべしと做す向もあつたが、わが駸々乎として停止することを知らぬ工業界の進歩を以てすれば、すでに支那の工業に對し、相當のハンデキヤツプのついてゐることを承知して然るべしと思ふ。勿論かくいへばとて、吾人は決して慢心したり油斷してはならぬ、が併し、生産技術や製造組織において今日の如くハンデキヤツプのついてゐる以上、われわれはただ支那側に對し、格安にして上等の商品を提供するといふ親切心をさへ發揮せば足るのである。必ずしも粗製濫造といふのではない。今日は値段に比較して、常に相當の商品を供給し得る準備が、わが日本内地の工業界に出來てゐるのであるから、われわれは格安の上等品を支那側に提供すべきである。

◇

見本市においての取引値段と一般の小賣値段との間には、また相當の開きがあるやうである。われわれ今日の消費經濟組織を構成してゐる以上、生産者から消費者への過程を、成るべく簡易近接せしむることを念とせねばならぬ。そこに商業者の進むべき道が存するのではあるまいか。勿論、資金の運用、その他において、また大連その他の滿洲都市の如きにありては、銀資金を如何に運用するか等によつて、最新の消費經濟に適合する方途を發見すること、決して不可能ではないのである。然るに依然として舊態を脱し得ぬものがあるが如きは、そこに世界的の一般不景氣、または銀安の打擊等ありとしても、商業者の積極的の活動力の不足を示すものといはねばならぬ。年々歳々消費經濟の機構[illegible]を示しつゝある[illegible]市[illegible]

[illegible]得ると共に、支那人方面に向つても相當販路を擴大し得ることは、日本内地の最も進歩したる工業のバツクを以てして、決して不可能事ではあるまいと思ふ。吾人は、かくの如くに觀察し、滿殺の滿洲第一回の見本市を、最も有意義にこれが收穫を收納することに努力し、以て現下の不景氣、銀安に對する不況時代を打開せんことを要望するものである

昭和製鋼所の位置問題 愈よけふ最後的決定
傳へられる三當局三樣の意見 歸趨は豫測を許さず

【東京特電十三日發】昭和製鋼所問題の運命を決すべき巨頭會議は既報の如くいよいよ十四日午後三時から首相官邸に開かれるが問題解決の鍵となるべき

一、政府の保護奬勵方法即ち關稅並びに奬勵金の給與如何

一、敷地の決定即ち鞍山か新義州か(それとも關東州か)

等の問題が果して如何なる歸着を示すべきか頗る注目されて居る、今試みに本問題の歸趨について關係三當局者の暗示的談片を並べて見るに先づ

松田拓相は 山本前總裁の新義州設置計畫は杜撰であるから更に精査したのである、敷地については未定であるが事業は今更中止することはないと言ひ當の

仙石總裁は 滿洲の仕事でも内地と同樣に政府が保護奬勵するかどうかによつて本問題は決まる、政府が若し保護奬勵せぬとなればあまり面白い仕事ではない、場合によつては仕事を中止すると言ふが如きこともあり得る事だと言ひ解決の鍵が全部政府の決意如何即ち總裁の所謂「滿洲の仕事に政府が内地同樣の保護奬勵を與へるかどうか」にあることを力說して居る、更に右總裁の所謂「政府の保護奬勵如何」について財務上の決定權を持つて居る

井上藏相 は自分が曩に仙石氏に差し出した意見は私案に過ぎない從つて内容は言へぬがかういふことだけは言ひ得る、即ち滿鐵といへども一つの事業會社である、故に假りに政府の保護奬勵を受けるにしても時の政府の都合や國際上その他いろいろ複雜な故障を伴ふことによつて常に不安を感ずる基礎の下に本事業に着手する譯には行くまいと語り自分の意見が必らずしも仙石總裁の考へと一致しない點あることを言外に述べて居る、これ等

三者三樣 の暗示的談片を直ちに比較的對照して本問題の歸結に對する推斷を下すことの甚だ危險なるは言ふ迄もないが少くもこれ等の談片に徵し本問題の解決がいかに單純に行かぬか想像することは出來るであらう、これに關する穿つた見解としては仙石總裁の意圖は鞍山設置とこれに對する政府の保護奬勵をもつて本問題解決の最善策が不可能と決した場合は本事業を或は中止するか若くは次善策につき改めて考慮するとになるのであらうが新義州設置(若くは關東州内)の如きはその次善策として政府の考慮を促すのではないかと言ふ說がある、目下のところ事業の本質上最も

有利なる 鞍山設置說は總裁の所謂「政府の保護奬勵」について國際關係若しくは財政上その他事務關係においての難關があり新義州(若しくは關東州)設置については總裁が果して次善策としてこれが實現を考慮するかどうかによつてその成否が分れるものと見られてゐる、要するに本問題は十四日の會合によつて最後的決定をなすか、また決定しても直ちに發表し得るかどうかも相當疑問であるし、殊に敷地問題については關係者においても依然として謎であり決定的推斷を許さざるものがある

海軍條約問題觀
貴族院に兩樣の意見

【東京十三日發電通】海軍々縮問題の成行につき貴族院側では左の如く兩樣の觀測が行はれてゐる即ち民政系の勅選團たる同成同話會方面では

國防の責任者たる海軍大臣及び軍令部長が新國防計畫に依り十分國防の缺陷補充の方策を講ずる以上政府は確信を以て樞府に諮詢の奏請を急ぐのが當然で樞府が國防責任者の言明を以つて尚ほ國防に危惧を懷くは責任政治の大義を沒却するものである政府が絶對多數を制する國民的背景を以つて本條約を提げ樞府に當る時は樞府の難關も切り拔け得らるるであらう何れにせよ現内閣は若槻内閣の時と異り堂々決戰の決意をこそ有して居れ決して退却の意志は斷じて持つてゐない、政局の前途にも何等引掛る事態なしと見てゐるが、これに反し研究會公正會交友倶樂部の諸派中強硬論者の間には

政府は軍部の意嚮を圓滿に纏め得ずと見極めるに及び樞府に強硬態度を以つて臨まんとしてゐるがこれに依り假りに政府所期の目的を達し得たとするも條約成立の曉は正式軍事參議官會議にかけ新國防計畫を決定せねばならず軍部方面の強硬意嚮は益々度を加ふる事は必然であるから事態は更に紛糾を生ずべく政府が形式理論を今日主張する事が果して責任ある行動といひ得るか疑問である

と評してゐる

重大疑義を存する 國產品の意義、限界
海外事業奬勵に牴觸

【東京特電十三日發】現内閣の唱道する國產奬勵運動に關聯し國產品の意義及び限界が頗る不明確なため二つの重大なる疑義がありこれについて如何にすべきやが今問題となつてゐる即ち

一、外資により經營される工場の製品を一般工場の製品に對してどの程度に保護すべきか

二、外國領土において我國の資本により經營される工場の製品についてはいかなる態度をとるべきか

などがこれである、殊にその後者に對しては輸入防遏運動の見地から頗る難問視されるに至つたがその一、二例を擧ぐれば

一、臨時產業合理局の發行する代用輸入品調べ第二類第二項の銑鐵は主として現在輸入年額三十萬噸に近い印度銑を指稱するもバーン製鐵の如きは僅かに日本の岸本商事などの輸入商が約半額の投下資本を行つてゐるがこれが防遏は海外事業奬勵の見地から牴觸することとなきや

一、日支合辦の本溪湖煤鐵公司、滿鐵の計畫する昭和製鋼所その他の滿洲事業或ひは青島、上海等の在支紡績事業の製品を如何に取扱ふべきや

等いろいろの疑問がある、元來これ等の問題は大正九年原内閣當時臨時經濟調査會においても論議されたが保護關稅政策との矛盾に逢着し結局この問題と關稅政策とは切り離して別個の問題として對策を講究すべしと言ふことになつた而もその後政府及び民間において種々講究されたに拘らず何等の名案なく懸案とされてゐるものであるが今回の國產品愛用奬勵問題並びに現に問題となつてゐる昭和製鋼所建設に關聯しても種々議論あり戻し稅その他條約上拘束ある方法によらずして別個にその對策を講究することの必要が痛感されてゐるが民間側でも政府がこの一點につき意見を確立せんことを希望するものが頗る多い

廿日頃最後の決戰
兩軍主力津浦線に集中

【北平十二日發電通】南京側は平漢線及び江西湖南方面出動の中央軍の大部分を津浦線に集中し徐州を中心に兗州濟南兩地に向つて乾坤一擲の總攻擊を加へんとし既に移動を開始したこれに對し北方側は平津地方の總豫備隊を繰出した上甘肅察哈爾地方の邊防軍を出動せしめつゝあり來る廿日前後には前回以上の猛烈な戰鬪が行はるべくこの一戰こそ南北戰の關ケ原戰となるものと觀られる

反蔣各派愈十三日 聯合宣言を發表
北平懷仁堂において

【北平特電十二日發】新政府樹立を前にして明日午後二時北平懷仁堂にて改組派の王法勤氏主席となり聯合宣言の發表式を行ふことゝなつた尙擴大會議は本月下旬に開き政府の成立は汪精衛氏の北上と共に來月の末と豫想さる

戰を有利に導き 妥協機運を促進
中央軍戰備を急ぐ

【北平特電十二日發】隴海線の最後の決戰は中央軍の作戰不成功に終り今度は全力を濟南攻擊に出ることに決定し湖北、湖南、廣東の四個師を加へ合計十九個師を繰出し戰ひを有利に導き妥協の氣運を早める豫定である、山西軍も之に對し對戰準備を急ぎつゝあり

曲阜戰禍の巷

【天津十二日發電通】警備司令部發表によれば孔子の聖地曲阜の一帶は遂に戰場と化し八日來二晝夜に亘り激戰中で中央軍は孔子廟の上に機關銃を据へて猛射して居ると

共產土匪軍 沙市を挾擊す

【漢口十二日發電通】沙市來電によれば共產黨土匪軍の脅威は愈々募り十日朝約二千の共產土匪軍は沙市の下流二十哩馬家寨に上陸し同日午後約九百名は大畢港に到着兩方面から沙市を襲はんとしてゐる馬家寨に上陸した分は前進して同日夕刻觀音寺に到着その數も五千に殖へたらしく沙市の人心は極度に不安に陷つてゐる我軍艦二隻は避難して來た邦人八名を收容し在留英人二名は米艦に避難した

南北戰死傷者 廿萬人

【奉天特電十三日發】目下滯奉中の南京政府外交部次長王家楨氏は左の如く語つた

南京を立つ時には三週間の豫定で歸奉したが豫定を變更し今の處何時赴南するか判らぬ、今回の時局は相當長びく模樣である戰禍を受けての住民の苦痛は目もあてられぬ程慘狀を極めてゐる今回の戰亂で死傷數は廿萬人といはれてゐるがその中でも飢餓その他で死亡したものが相當多數ゐる、蔣介石氏もあの多い野菜も食べられないし戰場にあつて石混りの米と罐詰とで僅かに餓を凌いでゐる有樣である、南京政府内の改造論が傳へられてゐるやうであるがそれは他部の宣傳で現在そんな模樣は一寸も見受けなかつた

アメリカの景氣 いつ回復するか
急速な反動の原因

[illegible]は非常な好景氣[illegible]拂込みのユー・[illegible]が八月には二百[illegible]かつた、それが[illegible]で百五十ドル[illegible]四月には一[illegible]したが、最[illegible]低に下がつ[illegible]斯く急[illegible]知らん

とすれば昨夏迄の好景氣の氣相を知らなければならぬ、六月廿一日ロンドン・エコノミスト誌は次の樣に報じてゐる

アメリカの工業生產費は一九二三年以來急速に低下してゐる、然し一般物價はその割に下がつてゐない、その結果、製造業は著しく有利となつた、國に率つて彼等は工場を二倍三倍に擴張した、斯うして生產能力は擴大したが、彼等は製品が安くなることを好まない、價格維持のためにあらゆる方策を用ゐた、これが爲めに或は價格統制機關を作り、又月賦販賣によつて購買を促進した、その結果――少くとも統計上には、在荷の滯積を見るに至らなかつた、然し消費者の手許に於ける在荷は疑ひもなく激增した

▲　▲

然し昨秋の株式パニツク以來大衆は警戒を始めた、製造業者間の種々の協定も今や何等の效力なく物價は下落の一途を辿つてゐる、諸會社の第二期、即ち四、五、六月の決算報告は第一期より更に惡いらしい、ニューヨークの株式が六月中旬以來急激に下落したのは右の事情に基くのである、とはいへ日本の現狀に較べたらアメリカの不景氣はさしたる事でもない、株價の指數は一九二六年(昭和元年)の平均より尚四割高を示してゐる、百ドル拂込みのユー・エス・スチール株は尚百五十弗臺にある

▲　▲

エコノミスト誌は次の如く結論してゐる

アメリカ經濟界の下り坂はどこ迄續くか――これは主として本年の世界の農產物收穫高如何に懸つてゐる、若し棉花及び穀物の收穫が少なければ回復は容易であらう、然し反對に本年も多額に上れば(現在の見込はさうである)景氣はまだ惡くなるのと見なければならぬ、何故なら收穫が多ければ相場は必然的に下がる、さうすれば農村の購買力は極度に低下し、又中西部の銀行中には破綻するものが出るであらう、それは株式の好況時代に農民に對し貸過ぎてゐるからである

奉派抱込の 最後的運動に
中央の劉光氏赴奉

奉天派に對する最後的抱込運動の使命をもつ國民政府參謀本部第一廳長劉光氏及び吳鐵城氏(吳鐵城氏妻)は十三日入港の[illegible]丸で來連したが、劉氏は

今夜の急行で奉天に行き張學良氏に面會するつもりです、滯奉期間は不明です、吳楊氏とは船の中で一しよになりました

と言葉少なく語つた、又吳楊氏は

主人からすぐ來いといふ電報が來ましたから出發しました、當分奉天に滯在せねばなるまいと思つてその用意をして來ました

船が岸壁に着くと出迎への吳鐵城氏は船中に飛び込み三人で繼げに語り合ひヤマトホテルへ自動車を飛ばした、尙三氏は同夜急行で奉天へ向つた

南北の勢力 伯仲す
伊藤氏來連談

長らく南京に駐在活動してゐた滿鐵伊藤武雄氏は今回の異動で本社に轉勤を命ぜられたので十三日入港の[illegible]丸で來連したが左の如く語る

南京には一年餘りゐました、最近の形勢はまあ五分五分でせう、武力での解決は不可能と思ひます、しかし奉天派が援助した方が勝つでせう、蔣介石氏もこゝ一二ケ月位で何とかならなければとて奉天からの申込みは何でも聞いて援助を頼む樣子です、とくに銀安で皆困つてゐますが、とくに金融の影響は甚しい樣ですし、しかし支那銀行は銀の思惑はあまりやらないから倒產するところはないでせう

陸軍節約擴張 一千萬圓程度に

【東京十二日發電通】豫算節約につき陸軍省は七百五十萬圓以上の捻出を不可能と稱してゐるが海軍省との均衡上更に二、三百萬圓を繰延べ節約額を一千萬圓程度となすべく節約額增加を調査中で十四五日頃確定の見込みである從つて各省全部の節約案を纏めて計數整理を行へば到底十五日の閣議には間に合はぬので節約案最後決定は十八日の閣議となるであらうと

海軍省に更に 節約要求

【東京十二日發電通】海軍豫算一千二百萬圓の豫算繰延は俄然世論の物議を釀したが湯淺會計檢査院長は寧ろこれを是認する如き意嚮を漏らした爲め大藏省は更に一千萬圓繰延べを海軍に要求した海軍省は已むなく節約方法を調査中であるが最後的解答は十四日頃となるべく斯くて大藏省の要求は略容れらるる模樣である

米國上院の形勢
政府は樂觀的態度

【東京十二日發電通】十二日其の筋へ達した情報に依ればアメリカ上院のロンドン條約討論も今週を以て大體その峠を越し來週中に通過し終る形勢でアメリカ政府當局は樂觀的態度を持つに至つた

反革命運動は 死刑處分

【滿洲里特電十二日發】哈府沿海州極東局では最近蘇城炭坑其他にストライキが續出したので、反革命治安維持法を施行し、若し反ソウエート革命を計畫し實行したものは死刑、これに加擔した者同罪、武器を供給したものは十年の徒刑に處すると嚴命し該法は小民族、鮮、支人その他にも適用することを附記してゐる

豆油界振興策

十二日上海向けて出帆の大連丸にて大連市會議員安藤民氏が出發したが同氏は最近頓に疲弊せる油房界の恢復挽回策を講ずべく上海油業工會と連絡をとり豆粕並に豆油の歐洲進出を圖らんためであると

北寧線の收入 狀態

【奉天特電十三日發】北寧鐵道五月分の營業成績は欒縣以西關内線四十二驛の收入百八十二萬七千六百四十四元八十六錢、朱各莊以東關外線八十五驛の收入百廿一萬六千六百八十四元四十一錢、合計三百四萬四千二百九十九元二十七錢でその内乘客運賃は百十四萬九千三十四元六十八仙、人員六十一萬二千二百三十五人、貨物收入百七十三萬七千三百三十五元十四錢、七十九萬一千五百八十一噸、雜收入十五萬七千九百二十九元四十五錢である、尙十萬元以上の收入を擧げた驛は古冶、天津東站、北平、通遼、瀋陽、皇姑屯、唐山、營口の八驛である

十河新滿鐵理事
用度販賣兩部長擔任

【東京特電十二日發】十河信二氏は十二日付を以て滿鐵理事に任命されたが用度部長を以て販賣部長を兼務することゝなつた

あと一名の理事
賜暇歸朝の木村公使

【東京十二日發電通】滿鐵理事は伍堂十河兩氏の任命で尙一名の缺員があるが目下賜暇歸朝の途にあるチエツコスロバキア公使木村鋭市氏が歸朝次第任命される事となつた

自分の信ずる案を 政府が承認すればやる
製鋼所問題で首相と會見の後 仙石總裁意中を語る

【東京十二日發電通】仙石總裁は十二日午前十時濱口首相を官邸に訪ひ財界對策につきその後首相が實業家と會見協議懇談した結果を聞きたる後昭和製鋼所問題につき懇談して午前十一時四十分辭去した、總裁は會見後語る

財界對策進言をした爲めか何うかは知らぬが兎も角濱口首相が實際家から意見を問ふて居る事は非常に良いその結果如何なる案を樹てるかは余の知らざる處であり又余の役目でもない、一昨日の與黨との懇談會で財界有力者と會つたが何等の名案はなかつたと述べたといふが若し名案がなければ惜い事だがそれは仕方が無い、譬へば病人を醫者に診せて療法がないと言へば止むを得ず死ぬ外はない、然し濱口首相としての責任もあり、この點は何にか考へもあらう、昭和製鋼所問題は十四日相談する事になつて居るが齋藤總督が敷地決定につき上京迄待てとの事だが自分としては何等の關係もない自分は自分の信ずる案を樹て政府が之れを承認すれば良くしなかつたらやめるだけだ齋藤總督が何んと言ひ朝鮮で何んと言ふともそれは別問題だ

拓相首相訪問

【東京十二日發電通】仙石滿鐵總裁の首相官邸訪問に次ぎ松田拓相も十一時濱口首相を訪ひ昭和製鋼所問題につき種々打合せを行ひ十一時半辭去した

宇佐美小坂兩氏 歡迎會盛況

來連中の宇佐美資源局長官及び小坂拓務次官歡迎會は神田民政署長、田中大連市長、村井商工會議所會頭、張大連、關小崗子兩華商公議會長發起の下に十二日午後七時よりヤマトホテルに於て催されたが在連日支官民名士百餘名の出席者ありデザートコースに入るや田中市長の挨拶あり、宇佐美長官、小坂拓務次官これに答へて謝辭を述べ何れも在滿日支人の提携共存を力說して出席者に感銘を與へ、同九時二十分盛會裡に散會した

滿洲の電報成績

滿洲各郵便局から内地、朝鮮、臺灣等に發着する電報數は十一日の調査に依ると一日一萬二千通に達し、その國別内容は大阪、神戸を含む攝津が第一位で東京、横濱を含む武藏が第二位、長崎を含む肥前が第三位である、即ち攝津千八百七十九通、武藏一千二百七十一通、肥前二百五十二通、長門百八十六通、尾張百七十八通、豐前百五通、山城百四十通、安藝百通薩摩九十通(以下略)

人事

▲後藤朝太郎氏(日大教授) 十五日大連入港あめりか丸にて來連の豫定
▲有馬豪毅氏(同上歸連)
▲有馬邊氏(同上)
▲竹内克巳氏(同上)

安樂椅子

ロンドン條約諮詢問題やら財界不況對策やらで一層頭を惱めてゐる濱口首相は十二日午後の暑い陽盛りを自動車で夏子夫人、令孃富士子さんを伴つて山に圍まれた鎌倉の別莊に入ると首相は白地に縞の浴衣に着替へて凉風の涼を入れ乍らベランダの籐椅子にどつかと腰を降して打寛ぎ乍ら先づ別莊生活を語る

僕の別莊生活は毎朝七時半に目を醒し夜は十一時には就寝する晝は一時間位午睡を貪ることにしてゐる、書物などは讀まず只妄想に耽るのみだ、これで時間は結構過ぎて行く、こうした暇な時難かしい書物など讀んだつて頭に入らぬものだ、忙しい時に暇をぬすんで讀む方が理解するものです、靜かな處で考へ事すると却つて心配するものだ、忙しい中で物を判斷する方が良い事は心が緊張してゐるからだらうと思ふ、僕は講談本などは嫌ひだこの別莊は山の中だが海岸は砂が焼けるから暑くていけない

といふ樣にこゝ迄も濱口式の理詰めの總譜である【東京十三日發電通】

滿日地方版

奉天

洋車の賃銀 統一案出來上る 實現せば市民は利便

奉天署では從來不統一のまゝ支拂はれてゐた人力車の料金を乘車地から距離を定めて大體左の如き案を樹て實施方法を進めてゐるがこれが實現の曉には市民は大いに惠まれて來る譯である

一、乘車地より十五町未滿五錢（未成道路及び雨雪天の場合は五割增とす）
二、乘車地より十五町以上一里未滿十錢（同上）
三、附屬地より毛織會社附近十五錢（雨雪天の場合は五割增とす）
四、附屬地より大小西邊門內十錢（同上）
五、附屬地より城內二十錢（同上）
六、附屬地より東南北門外廿五錢（同上）
七、附屬地より北陵四十錢（同上）
八、半日借切六十錢
九、一日借切一圓

原澤小新、中井秀、渡邊顯一郎、曾我廼家五郎兵衞、高橋淸美、紫地榮子等で十三日は午後一時から浪速通ユニオンにて右一行と在奉愛劇家との座談會を催した

人事

▲菱刈軍司令官 十二日急行にて北方より過奉五龍背へ十五日來奉の筈
▲波田奉天運輸事務所長 十一日夜歸奉
▲張學良氏 葫蘆島に滯在中の同氏は廿一日擧行される講武堂の卒業式參列のため廿日歸奉する由
▲林總領事 近く賜暇歸朝を得て歸京する由
▲入江滿鐵公所長 十一日各方面を歷訪新任の挨拶を述べた

町の便り

市內宇治町東本願寺では十三日から十六日迄毎日午後一時、七時の二回盂蘭盆法要を修行し法要中本願寺布敎使長崎市會議員三角貫思師の講演あり多數來聽を歡迎する由

◇

十一日の議員會で決定した奉天商議の會頭藤田九一郎氏、副會頭西尾一五郎、菅原憲亮兩氏に對し十二日總領事館から夫々認可された

◇

遼寧國民外交協會では十二日午後五時から青年會館に於て演說大會を開き辯士は領事裁判權問題につき交々講演をなし大いに氣焰を揚げ九時頃散會したと

◇

十一日午後十時半頃一支那人が奉天驛待合室に於て混雜中の旅客のポケットから掏り取らんとして逮捕されたが彼は哈爾賓公合輪船水手監工員王玉祥（二七）と稱し車內待合室等で掏摸を專門に働いた賊でこれまで三百餘圓を捲き上げてゐることを自白した餘罪取調中

奉取手數料 割戻問題

奉天取引所信託會社の總會を眼前に控へ組合側では手數料割戾しにつき明石、山下、林、赤穗の諸氏が代表となり十一日朝商工會議所にて吉川、三谷の兩重役會見し懸案に就て種々打合せをなす處あつたが吉川取締役は語る

今回は總會における手數料割戾問題に關し双方の懸案を協議したまでゝ今回會見は誤算問題には何等關係ない、しかし該問題は何時までも持續する事は双方とも不利益であるからこの際相互に讓步し圓滿に解決したいと云ふ意志を持つてゐるから來るべき總會には解決の目鼻がつくことゝ思つてゐる

施餓鬼法會

地方事務所主催施餓鬼法會は[…]午前九時から渾河齋場にて盛[…]され引續いて十時からは[…]同樣施行され森島總領[…]所長、守田民會長、[…]兵分隊長、木下[…]長代理その他[…]頭終了した[…]同樣施餓[…]

哈爾賓

エスイモンド技師 收賄で下獄か？ 鐵橋架設に絡む疑獄發覺說

ロシア人間では前東鐵管理局技師エスイモンド氏がモスクワに歸還した處政府のために抑留され投獄されたと傳へてゐる、其の原因は第一松花江及びノーニソ河の鐵橋架設に關し現在の橋梁は既に二輛の機關車をもつて多數の貨物車を連結索引して橋上を走行することはできないピーヤに龜裂を生じ危險であるとの意見からエ氏が改築案を提議したが、最近モスクワ政府交通部からユローロ技師一行が來哈し約十數日に亙り實地試驗の結果、左程危險でないこと立證され、橋梁を請負つた某會社の贈賄事件が發覺しそのために監禁されてゐるのであると、尙鐵道會議で歸國したイリンスキー、ドミトリスキー等の人物も不正事件に引つ懸つて監禁されてゐるの風說が行はれてゐるが、眞僞不明である

ソーンツエー刑務所に收容され三年の刑期を終へて出獄、本年二月ハルビンに辿りつき一時中野淸助方に厄介になつてゐた河田三郎事杉村は再度入露を計畫し發見され成鏡北道の警察で目下取調を受け

無緣佛の回向

異境の空で無緣佛となつた人々のためにせめては心からの供養をせんと、居留民會鈴木理事は十日長瀨庶務主任と共に民會墓地に至る墓所を掃除したが、在哈佛教有志[…]はシベリーお菊木村うめ女の如[…]夫を始め無緣佛の菩提を弔[…]盂蘭盆には施餓鬼を行ひ勤[…]

てゐると

◇

大連見本市の一部では來る十五日商品陳列館にて午後二時から五時まで三階で見本市を開催する

◇

星ケ浦其他の海水浴場視察旁々避暑のため露字紙記者グンバー、ウオストーク、ザリヤ、ルーポルの四氏は十日南下出發した

◇

東鐵沿線視察のため南滿鐵道から三十二名を一班として十一組の一行が本月十六日をトップに來哈することになつた

雜俎

[…]東部線石頭河子虎[…]附屬地森林を本年[…]、西部線チョヤ[…]する計畫を進め[…]九一三〇年に[…]道に四十七萬[…]給した、穗[…]三金留に達[…]

撫順

陸上競技を筆頭 分團對抗競技 あすから各種目にわたり 撫順青年團の新計畫

撫順青年團は團員體育獎勵のため明十五日を皮切に順次陸上競技、野球、庭球、排球、水泳、柔劍道、相撲の各方面に亙つて分團對抗競技を行ふ事となつた各種目の內容次の如し

▲陸上競技 百米、千米メドレーリレー、走巾跳、走高跳、砲丸投、圓盤投
▲水泳 五十米自由型、五十米平泳、五十米バック、潜水、二百米リレー
▲野球 硬軟球何れもリーグ戰に依り行ふ
▲庭球 各チームを三組に編成ポイント戰を行ふ
▲排球 三セットにてリーグ戰を行ふ

あす清潔デー

赤痢その他流行病最盛期の昨今明十五日の淸潔デーは一層徹底的にやられ度しと

八幡との野球戰 あす三時から永安臺で擧行

大連において滿倶、實業と善戰したる關西の雄八幡製鐵所チームは愈々十四日來撫、十五日午後三時より永安臺球場で撫順野球部と見ゆる事と決定した、實力伯仲の間にあるこの試合は多大の興味を以て觀られてゐる因に當日の八幡チームのメムバーは左の如し

長森花正加大坂小消中
１２３４５６７８９
友川田田廰岡戶坂德村

撫中生の家出

撫順中學二年生である市內明石町四ノ一常房嘉親（一七）及び春日町五ノ二吉野同（一七）の兩名は十一日朝學校へ行くと稱して家出したまゝ姿を晦まし目下八方搜査してゐるが未だ何等の消息がない、原因は不明であるが一學期の成績もおもはしくないのを、受持教諭より注意されたのも原因の一つでないかと

撫中生の徒步旅行

撫中五年西脇、櫻澤兩君は團體を利用し撫順大連間の徒步旅行を企て十二日午前五時三十五分撫順を出發、亦同校田村、林兩君は寒撫間徒步のため同じく十二日朝出發した

大石橋

輸入組合の夜店廉賣

大石橋輸入組合の後援の下に商店聯盟が開催した二回の廉賣は豫想以上の好成績を得たので更に近く夜店廉賣を開催すべく目下協議中であるが層一層信用を博するため優良品を選擇して廉賣に提供すると云つてゐる

服部氏赴任

大正八年以來大石橋機關區工場工長として十二ケ年當地に勤續した服部甚助氏は今回瓦房店工場工長として十二日午後四時二十四分發急行にて赴任したが驛頭には多數の見送りがあつた

小林理事歸橋す

大連見本市に團長として出張せる小林理事は十一日夜歸橋した

開原

けふから暑休 開原小學校

開原小學校にては十四日終業式を行ひ通知簿交付及び暑中休暇中の注意訓話等をなすと、因に同校の暑中休暇は十五日より向ふ三十二日間である

陸上選手練習

鐵開四公對抗陸上競技大會は愈々來る八月十七日鐵嶺新設グラウンドにおいて擧行される昨年の優勝チームたる開原軍は藤井氏監督の下に十四日より毎日午後五時より中央公園グラウンドにおいて米津主將以下各選手が練習を開始する

對抗競技打合會

陸上競技關係者は十二日午後二時より地方事務所に集合し鐵、開、四、公對抗陸上競技に關する打合會を催した

滿銀支店移轉

滿洲銀行開原支店は今十四日より元日華銀行支店跡（朝鮮銀行向ふ角）に移轉した

長春

官帖やゝ見直す 官憲の壓迫が響いて

激落を示してゐた官帖相場は最近若干見直しの傾向を帶び、金對三百七十吊前後に盛返してゐるが、これについては支那官憲の强力的な彈壓の影響も多分に受けてゐるものと見られてゐる、卽ち崩落の一路を辿りつゝあるに躍起となつた長春地方支那官憲は世界的銀安に追隨して起つた現象をもつて錢鈔業者の模樣的取引の影響による所大であるとなし、城內交易所における官帖の先物取引を嚴禁しこれに背くものは嚴罰に處すべしと命令した、これが爲相當活氣を極めた立會も全く火の消えたやうな淋しさを見せ錢鈔業者の打擊甚大なる模樣である

十二日の豪雨

十二日午前一時頃より雷鳴轟き沛然たる豪雨は車軸を流すが如く驟して暴風さへ加はり物凄き有樣であつたが黎明に至り快晴に歸した

教育映畫公開

滿洲公私經濟緊縮委員では目下各地教育映畫を公開してゐるが、長春では敎化聯盟が主催となり十五日午後八時から室町小學校々庭で公開すると、なほ入場料は會費として大小人を問はず五錢を申受ける由

淫賣取締り

最近支那人側並びに日本人側宿屋飲食店等で密淫賣が行はれるといふ噂を耳にした、長春警察署保安係では近く宿屋、飲食店を一齊に臨檢し嚴重取締る方針で尙該出所とも通路を探り不時臨檢を行ふといふ

大岩所長招宴

新任大岩長春地方事務所長は十二日午後七時から料亭開花に在長新聞記者團を招待して觀親宴を催したが非常な盛會で九時半散會した

ホテル納涼園開園

長春ヤマトホテルの納涼園は從來毎夜午後六時から開いてゐるが、更に一般に便利を圖る爲十二日から當分の間毎日午後三時から十一時まで開閑する事となつた

人事

▲西村秀治氏（公主嶺地方事務所長）十日夜來長一泊着任挨拶に各所歷訪十二日歸公
▲籠谷保氏（長春地方事務所涉外係主任）大連に出張中の處十一日歸來
▲コロボフ氏（哈爾賓ロスキースロバー紙社長）外四名十一日過長大連へ
▲大場警部（長春署警務主任）十三日午後四時二十分發にて旅順へ歸來は十八日の豫定
▲大岩長春地方事務所長 十一日范家屯往復
▲平尾地方係長 同上

瓦房店

プール開き

十日午前十時より地方事務所社會課にてはプール開きを行ふたが大人小兒參集して賑はふたこの分では本年も郊々盛會を極むるだらう

共同墓地の法要

瓦房店地方事務所にては十六日午後三時より共同墓地にて盂蘭盆法要を營む事となつたので多數參詣を希望すると但し雨天の時は本願寺に變更すると

五湖嘴方面視察

小野村所長佐藤署長に新聞關係者等を加へた一行は復縣五湖嘴における炭坑及び粘土公司の狀況視察に出掛けた一行は十二日自動車にて陸路出張十三日後三道灣より三十里堡經由にて歸任すると

筆劍會例會

瓦房店筆劍會は前西村所長轉任其他にて例會を延期して居たが新小野寺所長着任と共に十一日午後六時より料亭筑紫に於て例會を開催した新任小野寺氏當番幹事高橋氏の挨拶あり了宴に移り盛會裡に同十時散會した

安東

競走馬を繞つて 騎手相手の告訴沙汰

安東競馬倶樂部では昨年秋から前後三回に亙り競馬會を開催し相當な成果を納めたが會員中に心がけの良からぬ者二、三ある爲め各競馬毎に問題を惹起し心ある者は安東競馬の前途を憂慮しつゝあるが此處に端なくも競走馬を繞つて騷いだ告訴沙汰が突發した

事件の內容を探聞する處に依ると昨年安東騎手向上會幹部有竹騎手が競馬を買求める爲め市內大和橋通七丁目齋藤某より金四百圓を借りこれにて馬を買求めたのに齋藤某は貸し與へたる四百圓の利子として金四十圓の返濟方を迫つたので有竹騎手は昨年の暮右金額を調達しこれを持參したるに何故か齋藤は之を受取らず今年に入つてからまたも利子金を請求し有竹騎手が暫くの間と猶豫を乞ひたるに齋藤某は有竹騎手が奉天非內氏より他に轉賣方を依頼されたる競走馬「岩見」を無斷にて鎭江山麓の馬小屋より自己の家に曳き來りその後有竹騎手が再三再四競馬返戾の交涉あるや月卅圓の飼糧代を出せと迫りその內に右馬を市內某に賣却して終つたので非內氏は有竹騎手を相手取つて告訴する手筈まで整つてゐたのを陸海樓主人橫畑氏が仲に入りこの方は圓滿に納まつたが腹の納まらないのは有竹騎手で僅か四十圓のそれも借用金の利子の爲めの競走馬が取られた揚句他へ轉賣せられたるは悔しく堪へず遂に齋藤某を相手取つて安東署に告訴狀を提出するに至つたので安東署司法係では齋藤某を本署に招致し目下取調中である

臨時大掃除

安東稀有の豪雨とされた去る八日驟雨の雨で安東市中低地の浸水家屋約八百を算し漏水家屋も亦數百戶を出したので安東署に於ては本十二日頃より臨時淸潔法を兼ね檢病的戶口調査を行ふ事となつた、因に施行區域は低地の浸水地帶を主として逐次高地に及ぶ事になつてゐると

大相撲初日

日々大相撲安東興行の初日は京城方面降雨の爲め更に順延となり初日は來る十七日となつた

人事

▲荒川六平氏（商議會頭）出城中の處十一日歸安
▲大津峻氏（地委委員長）出連中の處十一日歸安
▲井料員粕檢査員 十一日出發內地方面へ旅行
▲鮫島警部（安東署警務主任）足部負傷の爲め自宅引籠中

金州

民政支署長の招宴

增田新民政支署長は十二日午後五時より金州小學校々堂において官民多數招待し席上署長の挨拶に對し岩間氏及び曹會長の答辭ありて宴に入り八時頃盛會裡に散會した

遼陽

林間學校 十五日から五日 遼陽小學校生が

遼陽小學校では十五日から暑中休業となるが柞蠶校長の提案で左記方法に依り十五日から五日間林間聚落を實施すと

▲第一日 白塔公園午前八時開會國旗掲揚、國歌、訓話、體操、八時半より九時半まで學習（夏休み練習帳）九時半より十時まで運動、十時より十一時まで自由研究、體操、訓話、唱歌、國旗下し
▲第二日 苗圃他は同上
▲第三日 白塔公園他は同上
▲第四日 苗圃他は同上
▲第五日 白塔公園他は同上

共同墓地の施餓鬼 十六日施行

遼陽地方事務所では十六日午前十時から共同墓地において盂蘭施餓鬼を施行すと當日雨天の際は淨土宗織田寺に於て執行するにつき關係者はなるべく多數參拜ありたしと

警商團募集 匪賊警戒のため

遼陽縣長は夏季匪賊警戒に公安局員の補助をなさしむるため十日商務會役員を招集して警商團の組織を慫慂したる由なるが、商務會でも縣長の意を體し直ちに團員の募集に着手したと

演習部隊出發

鞍山附近の演習に參加した奉天駐箚步兵第三十三聯隊將卒七百餘名は鞍山から徒步で十一日午前遼陽着、同日午後一時發無蓋貨物車で奉天へ向け出發した、因みに無蓋貨車搭乘も兵士の體力其の他調査研究のためであると

人事

▲多田第十六師團參謀長 十一日朝歸遼
▲玉木滿洲新聞營業事務 同上

日活現代劇臺本より この母を見よ（六一） 崎面座同人構成

映畫キャスト

役	配役
原作	エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色	八木保太郎
監督	田坂具隆
撮影	伊佐山三郎
父 桑木元	南部章三
母 倭子	瀧花久子
子 中子	松平千鶴子
街の女 絆子	入江たか子
乾氏夫人	英百合子
おみつ	佐久間妙子
臼田夫人	津島ルイ子
娘瑠璃子	小西節子
婦人用品店主	常盤操子
よね	島村靜子
滿村 等	大原仁美
大村書店主	村田廣壽

亡夫の唯一の形見であつた、結婚指輪を犧牲にして得た、中子の藥や營養物は、泥まみれになつて街角に散つてしまつた。

狂氣の如く立ち上つた倭子は、走り去る自動車を見た。がそれは只自動車の後の窓に婦人を挾んで男が左右に乘つてゐるのが、かすかに見られたばかりだつた。

何もかも駄目だ——倭子は、むらむらと起る自棄の感情のまゝ、足元にころがつてゐたミルクの罐を蹴り散らしたりはしたものゝ、木賃宿の一室で他人に抱かれたまゝ、苦み拔いてゐる中子の身を想ふと、その鼎蠻をいつまでも續けてゐることは出來なかつた。いつか、ひしひしとおそうてくる壓知れぬ恨と悲しみは、絕望の淚を頰に傳へてくるばかりだつた。

淚の眼を二度自動車に注つた時自動車は、もう倭子の視野には無かつた。

倭子を倒して行つた自動車、それには誰が乘つてゐたか？倭子さへ想像もつかぬ三人——それは乾夫妻と等の三人だつたのである

これを知らぬ倭子は、絕望の淚に暮れながらも、希望を乾夫人一人に集めて、すがらなければならない夫人のあのやさしさを胸に畫いては自分自身を勵氣づけてゐるのだつた。

これはまた もつたいないことでございます——奧樣

水氣を吸ふて、ふくれあがつたまゝ、道にころがつてゐるパンをおかしく見入りながら濁くさい男が通りがゝりに倭子へ言葉をかけた。

倭子の決心は、待つてゐる中子の身を想へば想ふ程、堅く强くかためられていつた。

そうだ ほかにもうどうする道もありはしない 乾の奧樣におすがりするばかりが たゞ一つしかない

車輪の跡が深々と殘つてゐる、ぬかるみの路を倭子は、走るやうに乾家へ急いだ。

乾家の玄關口——いくつかの街々を走りながら、中子を案じつゝやつとたどりついた乾家の玄關口ではあつたが、明々と燈のついた玄關の階段に自分の影を見た倭子は、泥によごれたまゝの自分の姿では、ベルを押して家人を呼ぶ勇氣は出なかつた。

やがてあわれにも悲しい倭子の姿は、乾家の勝手口に立つて女中へ取次ぎを乞ふてゐた。

勝手口に立つたまゝ、女中の取次ぎを待つてゐる倭子の耳へ、奧から洩れてくる音樂のメロデーの間に間に、ほがらかな人々の笑ひ聲や拍手のどよめき等が、次から次と聞えてくるのだつた。

今夜はクリスマスの御宴會で 御客樣を多勢御招待申し上げてをりますので お目にかゝることが出來ないそうでございます

女中は、そう云つて忙しそうな態度で、倭子の立ち去るのを待つてゐた。

慘めな倭子が馳け出た時、倭子の心は暗闇だつた。唯一の同情者——として最後にとりすがつた、溺るゝ者の浮木は、陽に照らされた雪のやうに、はらはらと消えてしまつたのであつた。

地に倒れて泣けるだけ泣きたい倭子ではあつたが、悲しい運命にさいなまれつくした倭子の眼には異樣な光りがあるばかりで、淚の一滴さへもかれ果てゐるのだつた

神樣なんて この世にはないのだ 神樣は私に最後のものを 賣れとおつしやる

いつか晴れた、冬の夜空の星のまたゝきにや倭子は言葉をかけてゐた

中ちやん 待つてゝよ！ 母さんは……母さんは お前へのお藥をきつと 手に入れて 歸るから……

都會の夜の雜音が、冷々と倭子の鼎蠻を靜めて、石のやうに堅くつめたい冷靜は、二度倭子を現實の苦闘へよみがへらせるのだつた

『寫眞は松平千鶴子』